

地方史情報 155

2022年5月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	32	大阪府	50
宮城県	2	石川県	33	兵庫県	57
山形県	4	福井県	33	奈良県	61
福島県	5	長野県	33	島根県	62
栃木県	7	岐阜県	39	広島県	62
群馬県	7	静岡県	40	愛媛県	65
千葉県	8	愛知県	42	沖縄県	66
東京都	11	三重県	45	寄贈図書	67
神奈川県	27	滋賀県	46		
新潟県	30	京都府	48		

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 FAX011-728-6400
年5000円

◇87 2022.3 B5 4p

部会活動の一部を4月から再開します

スタブの意味／ラウネ(rawne)の意味／安足間という地名 山下 栄光
会報資料紹介 れら rera 東北36号 R4.01.31 東北アイヌ語地名研
究会

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊
<http://hoppohm.org>

◇124 2022.3 A4 6p

ロビー展「道東の捺文文化」	種石 悠
講座 土器からみた捺文文化の地域間交流と道東部の遺跡群	
講師：榊田朋広氏	種石 悠
ロビー展「オホーツクシリーズ⑮ 北の状景から」	中田 篤
企画展「ウイルトのモノとコトバ：サハリン先住民のコスモロジー	
（言語が切りとる世界）」	山田 祥子
講座 ニヅフ語とその話し手たち 講師：白石英才氏	山田 祥子
新収蔵資料 2021年度新収蔵資料	中田 篤

宮 城 県

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会

〒989-6156大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 TEL0229-22-7364

年3000円 1985年創刊

◇45 2022.4 B5 108p 1000円

道鏡禅師	近藤 純雄
いつもお世話になっている龍興寺さまのこと	萩原 憲司
しもつかれ	関 貴与
下野の孝謙・道鏡伝承地紹介	片岡秀雄／守る会
五人を偲びながら	本田 義幾
夫・辻正次のこと	辻 ますみ
須賀さんを思い出しながら	本田 義幾
富山県史・通史編Ⅳ（近世下）より 鏡磨縁起（山口初蔵氏文書）	
資料 河内国若江郡 八尾御堂略縁起 大信寺起由并実物目録 読み・高橋義泰	
4月7日 道鏡禅師法要に参列	萩原健司／小菅充
『偏境に活く』（本田発行冊子）を読んで	諸澤信子／仙田典子
通信等に感謝しつつコロナを思う	武井 浄司
道鏡さんに同情するも	瀬良 学
ボケ防止の一つに道鏡さんを	関 貴与
八十すぎた身ですが…	田中 昭一
歴史探訪、万葉講座を主宰して	田中 龍夫
古代国家発生前後	矢吹 道徳
八月十五日、玉音放送／宣戦布告の大詔（冒頭）	
教育勅語を聞かせられた世代から／日本国憲法前文	菅原 祐輔
あえて古いものを 妄説・女帝と怪僧をめぐる（小林友雄氏「あの山この里」より）	

それぞれの矜持	田村新太郎
裏表紙について	
三島神社の碑文（大田原市）、持宝寺の梵鐘（小山市）	（本）
『和気清麻呂』を進呈します～会誌をご縁に	仙田 典子
古代ロマンを訪ねて 飛鳥坐神社、天の香具山	石川善十郎
庶民信仰調べから	
子授け・安産・子育て・祈願信仰、石神(性器)信仰	高橋 義泰
称徳天皇陵と西大寺を訪ねて 平成29年3月8日～9日	高橋 昭夫
奈良田	萩原 憲司
道鏡・称徳が求めた国家体制を	森本 裕之
歴史観は次第に変化してくる	大塚泰二郎
大塚氏主宰講座使用レジメから 太政大臣・法王になった道鏡	大塚泰二郎
道鏡一女帝と由義宮	安村 俊史
国分寺造営と道鏡政権の関わり	須田 勉
千支・祝寿・六輝・二十四節	日野原 正
あとがきいろいろ	（本田）
資料 坂口安吾「道鏡」冒頭	
道鏡は天皇になろうとしたか	高橋 昭夫
人生100年という時代に道鏡探究	本田 幾義
農村の都市化を考える	倉石 忠彦
皇位継承歴史と女性天皇（高橋昭夫氏レジメ）	
表紙絵に関して	
明治二十九年（一八九六）『和気清麻呂』表紙より	（本田）

◆ナジェージダ（希望） 石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643

<http://deracine.fool.jp/wakamiya/>

◇47（vol.20）2022.2 A4 44p

特集 オンラインで結ぶ若宮丸漂流民世界一周の旅

石巻若宮丸漂流民の会設立20周年記念イベントを終えて

石巻若宮丸漂流民の会設立20周年を迎えて

木村 成忠

“石巻若宮丸” 228年後に時空を超えて、世界を駆け巡る！

～「漂流民の会」設立20周年記念イベント

齋藤 博

寄せられた出演者・参加者からの声 出演者から 河内牧栄、倉

田有佳／スタッフから 大島幹雄、齋藤博、千葉輝子、大野康世

／会員から 滝川祐子、佐藤ミドリ／一般参加者から 北村洋子、

柴田洋二、勝又真紀子、菊地眞勇美、工藤朝彦

誌上でたどる若宮丸世界一周の旅

アリューシャン列島の自然と歴史

ADAK・エイダック島～アラスカ最果ての町から

河内 牧栄

若宮丸漂流民が暮らしたイルクーツク

阿部 耕大

光太夫のふるさと・鈴鹿から 光太夫が持ち帰ったモノと情報

代田 美里

若宮丸漂流民も見た《地球儀》と《刺子の上ッ張》

ーロシアのクンストカメラから アレクサンドル・シニツィン／阿部耕大・訳

江戸期下北漂流民の刺し子の衣服のこと

佐藤ミドリ

後世に受け継ぐ「太十郎の上着」

一企画展「吉村昭と東日本大震災」開催報告を兼ねて

深見 美希

ロシアに帰化した漂流民善六が通訳キセリョフとして「来日」した

地・函館

倉田 有佳

日和山の謂れ

本間 英一

異文化コミュニケーション寸話

佐藤三寿夫

会員近況 『ジョゼフ彦記念会誌特別号 浄世夫彦』の刊行

稲垣 滋子

会員消息 新会員 伊藤卓雄（宮城県多賀城市）、工藤朝彦（青森県

青森市）／会員の活動近況 大野康世（神奈川県川崎市）

告知板 書籍紹介 「吉村昭と東日本大震災」企画展図録 企画展図

録「吉村昭と東日本大震災～未来へ伝えたい、災害の記録と人びと

の声」／書籍紹介 大森巳喜生訳・グローヴニン『日本幽囚実記』

自費出版／書籍紹介 岩下哲典『ムールの苦悩』『ロシア海軍少尉

《グローヴニン事件》 ムールの苦悩』

山 形 県

◆山形県地域史研究 山形県地域史研究協議会

〒991-8501寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西村山地域振興局

山形県総務部学事文書課分室 県史資料室内 TEL0237-83-1215 年2000円

◇46 2022.2 A5 87p 1000円

《総会・研究大会》

第四十六回研究大会

山形県内の歴史的建造物について

一笹野観音堂、置賜三十三観音堂、そして堂社背面の参拝

小幡 知之

長岡南森遺跡の確認調査について

角田 朋行

米沢市大南遺跡の発掘調査成果

一古代の官衙関連集落と中世の在地領主屋敷	佐藤 公保
高島町の山城調査報告	高橋 登
製糸業隆盛の遺産―漆山多勢家を中心に	高岡 亮一
米沢藩領在方医者の医術修業	須崎 寛二
高島線と地域産業	小林 貴宏
鉱山と共に歩んできた山里・吉野	加藤 茂
瑞龍院の歴史と文化財	石井 紀子
土人形の記録化を進めるための試案―米沢の土人形を事例に	阿部 宇洋
第46回総会・研究大会の概要 総会	

福 島 県

◆フークトープ通信 フークトープ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方
2015年創刊

◇48 2022.3 A4 2p

明治時代のステルスマーケティング―浜田四郎の「実験」	荒川 瑛楠
フークトープ紀行(48) 田島万古焼(南会津町)	赤井 武史

◆福島史学研究 福島県史学会

〒960-8251福島市北沢又字東谷地西3-5 年3000円 1951年創刊

◇100 2022.3 A5 140p

『福島史学研究』第100号刊行にあたって

孝明天皇宸翰と会津松平家―明治天皇への奉呈前後の背景	白石 烈
戦国期岩城氏の領域支配構造と「洞」	泉田 邦彦
南北朝以降の田村庄の登場人物―田村弾正並びに庄司宗季を中心に	佐藤 新一
信達第二十九番札所霊山寺千手観音(上)	幕田 一義
明治十五年コレラ流行と福島県	小野孝太郎
戦国期・南奥諸氏の官途補任について	岡田 清一
史料紹介	
「正月朔日付山内御殿宿所宛蘆名盛氏書写状」について	渡部 康人
「松平直基公家記」―白河時代の松平大和守家記録の翻刻(2)	内野 豊大
書評 徳竹剛著『政治参加の近代―近代日本形成期の地域振興』	山田 英明
2021年度福島県史学会研究報告会 報告1 平田禎文氏「三春城下町	
の人別帳について」、報告2 小松賢司氏「三春町役人筆頭武田家	
の追放をめぐるって」	

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8018福島市松木町13-16 TEL024-534-9193 2002年創刊

<https://www.history.fcp.or.jp>

◇62 2022.2 A4 4p

議案毎号否決の決議書

山田 英明

私年号「宝刀」「宝明」使用例の発見

小野孝太郎

変革期の笑い話

山田 英明

安政コレラの流行情報の記録

小野孝太郎

磐城炭礦社の設立と渋沢栄一

渡邊 智裕

白水阿弥陀堂を訪れた六角紫水

渡邊 智裕

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇11 2022.3 A4 4p

海を渡った人々の足跡 仏領マカテア記念碑

県庁周辺を探る お尻の下に敷いたのでは議会軽視ではありませんか

?! 六十年の思い出とともに、姿消す旧県会議事堂の石柱

ちょっと気になること なまっちゃ、いけないのでしょうか?

濁っちゃ、いけないのでしょうか?

◇12 2022.3 A4 4p

嗚呼! 県都ふくしま、文化果つる地、歴史死する街

また消える歴史的建造物

萬世大路

内務御雇和蘭(おらんだ)工師エッセルは、だまし絵名手の父親

◇13 2022.4 A4 4p

文化財探訪

地域と公民館と学校の連携 海老根伝統手漉き和紙保存会

荒井八幡神社 湯立て神事と七福神 コロナ禍で今年の開催は…可能

ならば4月第二日曜日～

◇臨時増刊号 2022.4 A4 4p

緊急増刊 3月16日の福島県沖地震による被害状況 相馬中村神社・

中村城跡と涼ヶ岡八幡神社の惨状! 史跡「中村城跡」と重要文

化財「相馬中村神社」/涼ヶ岡八幡神社

◇14, 2022.4 A4 4p

“萬世大路 人と自然の調和博物館”構想について

県庁周辺を探る 西庁舎裏の倒れた石灯籠は…福島恩人のお庭を…

栃 木 県

◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0054鹿沼市下横町1302-5 まちなか交流プラザ 年3000円 1954年創刊
<http://tochigi-vnpo.net>

◇61 2022.3 B5 44p

鹿沼城再考(1)	杉浦 昭博
三十番神について	国立 恵俊
鹿沼今宮神社の神馬百正図	駒場 一男
日光神領の報徳仕法	富久田滋子
昭和(戦後)を語る会記録 第3回 鹿沼農商の若者たち	
語り手 稲葉勝一郎・金田教／聞き手 黒川榮三／記録 福田純一	

群 馬 県

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785
 年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇270 2022.4 A5 57p

口絵 孀恋村の「天明の埋れ木」	井野 修二
例幣使街道 倉賀野宿「常夜灯」の寄進者について	松本 孝義
明治の内閣官吏 茂呂村・今泉村戸長 中島四郎	井野 修二
『白衣観世音建立之趣旨』余話(7)	
一井上翁頌徳碑と田村東谷、そして乃木將軍像	田口 正美
臨江閣と星岡茶寮に関わった知られざる名工 今井源兵衛	井野 誠一
名主 藤井家の門(高崎藩領稲荷台村)	富所洋一郎
日本近代化の父渋澤榮一と日本最古の足利学校を訪ねて	八高 久夫
お詫びと訂正	石山 幸弘
ベルリンの壁 崩壊とその後	山崎 正

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1980年創刊

◇43 2022.3 A5 144p

特集 群馬歴史民俗研究会創立四〇周年記念シンポジウム「日記の歴史民俗学—変化と連続の地域資料論」

開催趣旨・開催日程

基調講演 日記・日誌が切り拓く歴史と民俗	福田アジオ
『長楽寺永禄日記』における記主の視点	近藤 聖弥
「三右衛門日記」に見る若者組と地域秩序	
一日記史料の歴史民俗学的分析から	小嶋 圭
『記録』と『日記』にみる昭和期の養蚕農家	永島 政彦
討 論	
補 論	
軍医の日記に見る旅順戦の実態	
一膨大な脚気患者・自傷する兵士たち	前澤 哲也
小中学校ホームページにみるデジタル日記の史料活用	
一邑楽館林地域の事例	井坂 優斗

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇169 2022.3 B5 4p

陸軍士官学校「団塊の世代」について	前澤 哲也
緑野寺の資金源	廣瀬 亮輔

第119回例会記事 大野秀彰氏「中村孝也の著述活動と郷土観―群馬出身アカデミシャンは「郷土」をいかに語り、働きかけたのか」（大野）、和田健一氏「近世上州の灌漑用水と地質構造―高崎台地を中心に一」（和田）

千 葉 県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇237（通544）2022.3 A4 4p

馬乗り馬頭観音	山本 包介
日曜部会報告 「正徳六申裁許状」の理解について―「正徳の裁許状」は果たして「松戸みち」の付通しを許可したのか	清水千賀子

◇238（通545）2022.4 A4 14p

市文化財保存活用地域計画協議会 傍聴報告	荒井 茂男
“ふれあい塾我孫子”に参加して	東 日出夫

歴史部会 4月の研究講座のお知らせ 宗岡恒雄会員「古代東海道「於賦」の駅家を起点に相馬郡の官衙遺跡を考える」

古文書解説火曜部会 3月度活動報告 御林木数取調帳 川村一夫家

文書、組合村々被仰渡御請書證文并村々議定書写	小熊家文書	山本 包介
我孫子の社寺を訪ねる(43)	布佐地区(2) 竹内神社	中澤 雅夫
我孫子の社寺を訪ねる(44)	布佐地区(4) 愛宕八坂神社	中澤 雅夫

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111
年4000円 1982年創刊 <http://chibareki.blog.fc2.com>

◇79 2021.12 A5 120p

巻頭随想 歴史学を学ぶとは	高埜 利彦
歴史随想 オリンピック・パラリンピック大会関係資料保存の重要性	

顧問 三浦茂一さんを偲ぶ	青木 祐一
三浦茂一先生との出会いから今日まで	文責・中村政弘
三浦茂一さんの思い出	亀田 慎
三浦茂一先生にお世話になった三〇年	宮地 正人
薫陶をいただいた三浦先生	中澤 恵子
三浦茂一先生を偲ぶ	高林 直樹
	池田 順

近世東上総地域における儒学受容の一例	
一上総道学鈴木養斎の「日用」論	石井 七海
帝都の軍隊一近衛師団の戦列化をめぐる	荒川 章二
書 評	

渡辺尚志編『相給村落からみた近世社会 統一上総国山辺郡台方村 の総合研究』	土屋 雅人
国立歴史民俗博物館編集・発行『企画展示 性差の日本史』	木下はるか
新刊紹介	

谷口雄大著『〈武家の王〉足利氏 戦国大名と足利的秩序』	錦織 和彦
宮間純一編『歴史資源としての城・城下町』	渡辺 善司
渡辺尚志著『言いなりにならない江戸の百姓たち』	鈴木 凜
市川市史民俗編集委員会編『市川市史民俗編一 台地・町・海辺の暮 らしと伝承』	小林 裕美
千葉市史編集委員会編『千葉市史 史料編10 近代1』	矢嶋 毅之

例会報告

古代史部会 2021年5月例会 立原遼平「房総における施釉陶器の
受容」(大会準備報告Ⅱ)、2021年7月例会 服部一隆「近年の馬
研究に関する整理―馬と古代社会を中心に」、2021年8月例会 浅

野健太「上総国の古代牧」

文責・吉井哲

近世史部会

2021年1月例会

大谷貞夫『江戸幕府の直轄牧』(岩田書院、2009年)読書会 文責・小田真裕

2021年3月例会

上総道学研究の現在

文責・石井七海

討論要旨

文責・小田真裕

2021年4月例会 猪岡萌葉「祐天の成田不動利生譚に見る近世の

高僧イメージ」(大会準備報告)

文責・小田真裕

近現代史部会 2021年4月例会

小暮達夫「戦時下の中等学校におけるグライダーの普及について

―千葉県下の動向を追って―」(大会準備報告)

文責・小暮達夫

討論要旨

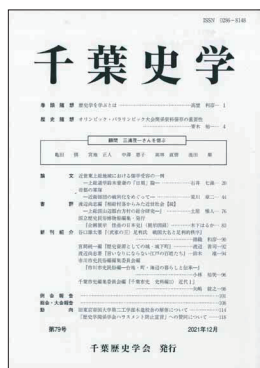
文責・高木晋一郎

千葉歴史学会第三九回総会・大会報告／訃報 村田一男氏

動 向

旧東京帝国大学第二工学部木造校舎の解体について

「歴史学関係学会ハラスメント防止宣言」への賛同について



* 2020年11月に96歳で逝去された、千葉歴史学会創設以来の委員で顧問の三浦茂氏を追悼する。

三浦氏は1924年に千葉県安房郡東条村(現鴨川市)に生まれ、海軍兵学校などを経て大学で国史学を学び、県内の私立学校と県立高等学校で教壇に立った。その後、県史編さん室主幹、県文書館嘱託を勤めた。主な著作に『千葉県議会史』(千葉県議会)、『千葉県教育百年史』(千葉県教育センター)、『千葉県の歴史 資料編、通史編、別編』(千葉県)、『中学校社会 歴史的分野』(学校図書)ほか多数があり、市原市、成田市、大原町(現いづみ市)、印旛村(現印西市)、勝浦市など、たくさ

んの市町村史編さんに携わった。

同氏からの強い勧めにより、木更津市で当地に江戸時代後期にあった教育機関（郷学）至徳堂の歴史的意義を学ぶ「至徳堂を知る会」を立ち上げた亀田慎氏は、三浦氏の揺るぎない指導により、逝去後も含めて2021年4月まで、17年間に191回の例会を重ねて史跡や古文書調査、研究を行い、成果を、『至徳堂関係墨蹟図録』（2008）や『近世地域教育の一断面―上総の郷学「至徳堂」の歴史』（崙書房 2014）にまとめ、地域の公民館や関係団体と連携して資料展示会や講演活動をなどの啓蒙活動を行ってきていることを紹介している。地域の次代を作るための歴史研究であろうとした三浦氏の遺志を継いでいかれることを願っている。

◆利根川文化研究 利根川文化研究会

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学史資料センター 阿部裕樹
気付 TEL03-3296-4329 1991年創刊 <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tonebun/>

◇45 2022.1 B5 72p

寛政改革期の利根川改修

原 淳二

下総行徳における元禄検地と塩浜衰退観

菅野 洋介

文化財めぐり

新河岸川筋福岡河岸の旧江戸屋主屋と穀蔵の現状について

酒井 智晴

史跡紹介 利根川東遷の現地を歩く―おすすめコースの紹介

黒川 雅彦

研究余録 中世の所領関係を伝える「内」地名

川名 禎

書評・新刊紹介

取手市埋蔵文化財センター編『目で見える取手の歩み』

村越 博茂

古賀邦雄著『ダム建設と地域住民補償―文献にみる水没者との交渉誌』

川名 禎

オンライン例会報告

東 京 都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 TEL042-540-1663 年6000円

2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇24 2022.3 A4 8p

市民活動資料を継承し続けるための市民の営み

―環境アーカイブズと市民アーカイブ多摩の異質で、濃密な関係 山本 唯人
ミニコミ紹介

『在宅ケアを考える会』通信 在宅ケアを考える会

山本 秀子

『Peace あさかわ』 浅川地下壕の保存をすすめる会 齊藤 勉
 第7期緑蔭トーク報告 第4回 橋本義夫とふだんの記―探求と記録
 の生涯 鈴木清隆（ネットワーク・市民アーカイブ） 記・鈴木清隆
 シリーズ“現場”を訪ねる(6) 橋本義夫の足跡を訪ねる 増沢 航
 私と市民活動資料(16) 知ってもらいたい、養育家庭のこと 後藤多美子
 市民アーカイブ多摩の四季(10) 春 モモ 邑田 仁
 岸中書庫報告(3) 移送資料の再検討(11月)、資料移送(2)(12月)、現
 書架の資料移動(1月～)

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818
 年5000円 1939年創刊 <http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/>

◇323 2022.2 B5 22p

北陸の飛鉢伝承一白山・医王山・戸室山・能登島・米山 石森 長博
 伊豆東岸の西国札所信仰
 一字佐美・円応寺「三十三観音石仏群」と巡拝塔 岡倉 捷郎

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊
<http://www.hblri.org>

◇132 (48-2 通215) 2022.3 A5 139p 1000円

《特集 二〇二一年度定例研究会の記録から》

特集1 ラムザイヤー論文の問題点を検証する

二〇二一年度第一回定例研究会の記録

ラムザイヤー問題とは―その経過・問題点・今後の課題 吉田 勉

ラムザイヤー論文への反論・部落史の立場から 鳥山 洋

ラムザイヤー論文への反論・社会学と同和教育の立場から

日本の部落問題研究・政策へのインパクト 阿久澤麻理子

ラムザイヤー論文への反論・英語圏の研究者の立場から

クリストファー・ボンディ

ラムザイヤー論文への反論・英語圏の研究者の立場から トム・ギル

日本公娼制／植民地公娼研究から 金 富子

コメント

特集2 埼玉県での人権意識調査から見えてくること

二〇二一年度第二回定例研究会の記録

教員人権意識調査から明らかになったこと

—空白の一五年の実態から何を学び、これから生かすか	石川 亨助
二〇一九年人権意識調査の結果と課題	小野寺一規
ヒューマンライツ再入門(3) 差別されない権利を求めて	
—全国部落調査復刻出版差止第一審判決	前田 朗

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇649 2022.3 A4 4p

拓本の鑑賞と記録～「協働 拓本展」とあだち拓本研究会	郷土博物館
文字から見る当館所蔵郷土玩具	間所 瑛史
あだち民具図典(2) 縄もっこ	荻原ちとせ

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇409 2022.3 A4 8p

春季区民教養講座講演会 足立の文化遺産の保存と公開活用について

学芸員・佐藤貴浩氏／令和三年度の活動報告

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1)(20)

編・堀川和夫

まちの仕掛け人たち(足立区)

信用金庫のパイプを生かして御宿場印をスタート！

千住の街歩き歌／お詫び

「獅子舞考」3 唐沢勝敏著 獅子舞の系譜とその継承 二 足立に残

る二つの風流獅子／三 獅子舞考／四 鹿浜獅子舞の継承

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇139 2022.3 A4 8p

復元建物、郷土の森に建つ(4) 旧雄智家住宅	佐藤 智敬
------------------------	-------

最近の発掘調査 府中第六小学校で発見！

縄文時代のフチ子さん 天神町4丁目

佐藤 梨花

NOTE 府中で見つかった動物形の硯

石澤茉衣子

府中の史料に見る江戸時代の流行病(8)

麻疹とコロナがダブルで流行

花木 知子

園内植物探訪(3) 花見の花形

中村 武史

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 FAX03-5922-6460

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇311 2022.2 B5 36p

表紙写真解説 北野神社の田遊び準備風景

板橋区徳丸六丁目三十四番 撮影日：2020年2月11日 写真と文・井上富夫
橋をめぐる民俗(4)・終 橋参り、七つ橋渡り 松崎 憲三
城への誘い(2) 三原寿太郎
区政つれづれの記(7) 経済・会計編(2) 松浦 勉
地域図書紹介 『板橋区赤塚新町の昭和一成増・赤塚・田柄(練馬区)一』

編集・発行：クラブ・ジャビー 協力：板橋区赤塚新町町会 文責・大澤鷹邇

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇444 2022.3 B5 22p

表紙 「春を待つ」三峯山神領民家 撮影：加藤恒彦氏

昨今のキャンプ事情

小泉 重光

失われた理想郷(1)一浦山谷の現状報告

小泉 重光

山の歌謡曲

加藤 恒彦

2021年 奥武蔵・秩父地域に於ける山岳遭難

町田 尚夫

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇142 2022.2 B5 8p

第40回定期総会

報告・山田美登里

第453回 月例研究会 稲付村地租改正地引帳について

榎本 龍治

第455回 月例研究会 赤羽飛行場の解明に挑む

本間 孝夫

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151八王子市上川町3160-9 車田勝彦方 TEL042-654-3101

◇43 2022.3 B5 6p

コロナと三しむ 表紙：戸沢観音堂での法要 撮影・伊藤勝之

瀬沼 秀雄

牛頭天皇と八王子 庶民信仰と地名の起源

車田 勝彦

市民自由講座 八王子市生涯学習センター川口分館共催 古牧温泉

杉本行雄物語—渋沢家の執事から東北の観光王へ
戦国マニア必見！ 泰巖歴史美術館見学記
咳と喉の神「おしゃもじ様」縁起

岡村 繁雄
杉田 博
伊藤 弘一

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇225 2022.3 A4 8p

催事スケッチ 福島県相馬郡新地町 福田十二神楽

黒いお顔のエビスさまが舞う

写真と文・久保田裕道

令和四年度催しもの決まる／慶事／訃報 柳原一成氏

第三十回関西支部秋季学術大会開催される

栗田恵津子

レポート

儀礼文化講座(令和3年度第5回) 香道

講師・志野流香道家元 蜂谷宗玄

佐々木幸子

儀礼文化講座(令和3年度第6回) 道教

「道教の三魂七魄説について」講師・國學院大學教授 浅野春二

儀礼文化セミナー(令和3年度第2回) 歌舞伎

「通し狂言 南総里見八犬伝」

村山 雄一

儀礼文化を語る 明治宮廷料理から現在の西洋料理について(後編) 青柳 義幸

◆記録と史料 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

〒185-0024東京都国分寺市泉町2-2-21 東京都公文書館 TEL042-313-8460

1990年創刊 <http://www.jsai.jp>

◇32 2022.3 B5 121p

特集1 認証アーキビストの制度開始

特集にあたって

広報・広聴委員会

アーキビスト認証の取組について

長谷川貴志

資格制度とアーキビスト—古文書担当職員の視点から

西向 宏介

認証アーキビスト養成の環境整備を考える—滋賀県の事例を中心に

大月 英雄

申請に至った私の場合

重久 幸子

令和2年度認証アーキビストの申請について

山田 之恵

認証アーキビスト制度「活用」に向けて

河野 未央

特集2 公文書管理法施行10年

特集にあたって

広報・広聴委員会

公文書管理法施行から10年の現状と課題

三木由希子

地方自治体における公文書管理法施行10年の現状と課題	早川 和宏
大学文書館における公文書管理法施行10年の現状と課題	西山 伸
鳥取県公文書等の管理に関する条例の制定とその後の取組	田貝 隆
札幌市公文書管理条例と公文書館での評価・選別	梅藤夕美子
地方自治体の現状と課題—三豊市文書館の事例	宮田 克成
公文書管理法10年 関連データー公文書管理条例制定状況一覧 (2021年12月1日現在)	広報・広聴委員会
世界の窓	
カナダのアーキビスト教育— UBS School of Infomation のアーカイブズ学プログラムを例に	金子彩里香
フランスのアーカイブズを知る	
—ブリュノ・ガラン『アーカイヴズ』をめぐって	大沼太兵衛
アーカイブズ・ネットワーク	
大阪大学におけるアーキビスト養成教育について	菅 真城
島根大学における大学院課程アーカイブズ学分野の紹介	
—アーキビスト養成に向けた課題と展望	清原 和之
東日本大震災から10年にあたり、資料防災を考える	木本 洋祐
書評と紹介	
関東弁護士会連合編『未来への記憶—リスク回避するための自治体の文書管理』	富田 健司
ブリュノ・ガラン著 大沼太兵衛訳『アーカイヴズ—記録の保存・管理の歴史と実践』	小根山美鈴
渡邊佳子著『近代日本の統治機構とアーカイブズ—文書管理の変遷を踏まえて』	久保庭 萌
小谷允志編著『公文書管理法を理解する—自治体の文書管理改善のために』	白川 栄美
井上透監修・中村覚責任編集『自然史・理工系研究データの活用（デジタルアーカイブ・ベーシックス3）』、高野明彦監修・嘉村哲郎責任編集『アートシーンを支える（デジタルアーカイブ・ベーシックス4）』、時実象一監修・久永一郎責任編集『新しい産業創造へ（デジタルアーカイブ・ベーシックス5）』	藤吉 圭二
平川千宏著『市民活動 資料の保存と公開—草の根の資料を活用するために』	川田 恭子
大阪大学アーカイブズ編『アーカイブズとアーキビスト—記録を守り伝える担い手たち』	鎌田 和栄
宮前良平著『復興のための記憶論—野田村被災写真返却お茶会のエ	

スノグラフィー』
 チャールズ・ケシュケメティ博士を偲ぶ
 会員刊行物情報一文献案内 Part31 機関会員から寄せられた情報／
 機関会員意外からの情報
 全史料協この1年

宇野 淳子
 小川千代子

◆国史学 国史学会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 国學院大學史学科気付 TEL03-5466-0246
 年4000円 <http://www.kokugakuin.ac.jp/~kokushi/>

◇234 2022.2 A5 106p

大奥女中の上京と三井越後屋
 中世後期若越地域の茶
 書評と紹介

畑 尚子
 野澤 隆一

関口博巨著『近世村落の領域と身分』
 神谷正昌著『清和天皇』（人物叢書304）

吉岡 孝
 佐藤 亮介

例会「卒業論文報告会」報告要旨

第一ミーティング

日唐田令の比較史的考察
 中世前期日本における錢貨流通の進展
 一東アジア視点からの考察
 王室問題からみた朝鮮仁祖期の権力構造

金井 勇磨
 長町 隆
 竹内 誉貴

第二ミーティング

病理と民間療法からみる近世以降の「疫病」観
 近世土佐国における酒造業の特質
 近世土佐国における酒造業の特質

新井 美紀
 伊澤 直生
 小藤 菜緒

第三ミーティング

関東大震災と『横浜市日報』
 ノルマンディー上陸作戦の準備
 陥し穴からみる縄文時代の狩猟

山本 泰史
 田中理登志
 長崎 芽衣

研究会「縄文時代早期の土器群と遺跡形成」報告要旨

谷口康浩・松本耕作(記録・文責 松本耕作)

例会「中世史」報告要旨

西国における南朝方の交通利用
 中世前期朝廷の政務・儀礼と撰閑家

梶田 航平
 海上 貴彦

例会「外国史」報告要旨

東アジアにおける海産物流通について

一函館・長崎・上海・ウラジオストックを中心に
海から見たロシア帝国一研究の意義と課題

麓 慎一
左近 幸村

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内
TEL03-3329-1151

◇105 2022.3 A5 56p

大会講演 アテナイ社会における公私二分の意識浸透について 桜井万里子
足利義輝の和平調停をめぐる一毛利氏と尼子氏の和睦を素材として

臼井 進

二人の歴史家・活動家の第一次革命論

—II.H.ミリュコフとH.A.ロシコフ

土屋 好古

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇292 2022.3 A4 12p 400円

聞き書き「荻窪の昔」(7) 池田さんの話(池田淑人氏長男夫人)(2012
年7月)／明田川荘之さんの話(明田川孝氏長男)(2016年11月)／佐藤
博己さんの話(2013年10月)／山形教道さんの話(中道寺)(2013年11
月)／小川隆次郎さんの話(2015年11月)／門脇淑子さんの話(2017年
11月)／宇田川忠治さんの話(2014年4月)／参考資料・テープ／都筑
勝三郎さんの話(テープ2)(1996年10月)

新倉 毅

杉並郷土史会へのお誘い(3)―当会のホーム・ページへ、直接アクセ
スできるようになりました！

私の本棚から(60) 『建築の絵本 日本人のすまい～住居と生活の歴
史～』 著者・稲葉和也・中山繁信 彰国社

波 巖

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇258 2022.3 B5 27p

熊本県下の造り物と、その起源に関する一考察

福西 大輔

農耕儀礼の穂掛けと贈答儀礼の「ホガケ」(穂掛け)

―群馬県下の「ホガケ」について

井田 安雄

三つの宝物伝説―福島県南相馬市鹿島区南海老

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2022-3 2022.3 A4 6p

世田谷の中世城塞 世田谷区教育委員会 区内図書館で閲覧可能／せたかい70号 寄稿 小林勲氏「吉良氏と世田谷城の二百年」平成29年度学習会 会員による自主研究／茅ヶ崎城址公園／横浜歴史博物館 「みんなでつなげる鉄道150年—鉄道発祥の地よこはまと沿線の移り変わり—」

世田谷の民話(21)

岡本村の金の火の玉は救いの神／現在の民話のふるさと 作者・桜井正信

世田谷の民話(22)

しょうべん地蔵は子どもと遊ぶ／現在の民話のふるさと 作者・桜井正信

◇2022-4 2022.4 A4 6p

令和4年度「国分寺崖線の文化財」散歩

世田谷の民話(23)

女狐、新村の清助さんをご招待／現在の民話のふるさと 作者・桜井正信

世田谷の民話(24)

権兵衛が種まき(北沢川地区)／現在の民話のふるさと 作者・佐藤敏夫

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒185-0024国分寺市泉町2-2-21 東京都公文書館 TEL042-313-8460

<http://www.jsai.jp>

◇111 2022.3 B5 56p

《第47回 高知大会特集号》

大会テーマ「資料保存ネットワークの拡充とアーカイブズ～連携と支援、高知の挑戦～」

開会行事

会長あいさつ 大平 裕己

開催地あいさつ 徳重 覚

来賓あいさつ 鎌田 薫

開催地紹介 ようこそ高知家へ～高知県は、ひとつの大家族やき。 三宮 久美

研修会

A 学校教育の救済と調査保存活動を支援する 目良 裕昭

- A 「学校教育の救済と調査保存活動を支援する」へのコメント 嶋田 典人
 B 土佐和紙と文化財修理用和紙について 有吉 正明
 C 高知県における住民主体の資料保存活動
 一 家庭の戦争資料を歴史資料に 楠瀬 慶太

大会テーマ研究会「資料保存ネットワークの拡充とアーカイブズ～連携と支援、高知の挑戦～」

大会趣旨説明 大会・研修委員会

報告1 高知県における公文書管理と公文書館の役割

一 県内市町村の実態を含めて 森下 信夫

報告2 大名家資料館から県立博物館へー使命と活動の広がり 渡部 淳

報告3 ネットワークで守る地域史料～こうちミュージアムネットワークの活用 筒井 秀一

大会テーマ研究会 質疑・総合討論 大会・研修委員会

施設紹介

高知県立公文書館

高知県立高知城歴史博物館

高知市立自由民権記念館

大会参加記

高知大会に参加して 菅野 将史

第47回全国(高知)大会に参加して 関口 荘右

全史料協全国(高知)大会に参加して 赤間 郁子

第47回全史料協全国(高知)大会を終えて

オンライン大会の実施記録 大会・研修委員会

大会を終えて 大会・研修委員会

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://daidogeinfo>

◇363 2022.2 A4 2p 100円

金輪つかい

◇364 2022.3 A4 2p 100円

木魚講の今

木魚講御詠歌

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇185 2022.2 A5 104p

《特集 多摩、東京のこたばの移りかわり》

『新東京都言語地図』の調査項目と東京方言調査

久野マリ子

関東方言の特色と江戸語・東京語の成立

久野 眞

東京都の音韻の特色—本特集でのアクセント・連母音の融合について

「大根」「東」「わからない」から見る東京のこたばの変化

竹内はるか

言語地図から見える年代差

—「熊」「千円」のアクセントと「じゃん」の使用について

坂本 薫

古語が残る東京のこたば—ケロ(蹴ろ)とペー

川中子善子

『新東京都言語地図』に見る語彙の移り変わり

—「竹馬」「せこい」「うざったい」

石原 郁子

洋風建築への誘い(74) 国分寺 そのころ

伊藤 龍也

建物雑想記(69) 多摩ニュータウン 落合住宅 NS型住戸

酒井 哲

古文書は語る(61) 近世初期八王子町建設時の洪水対策

—「武蔵名勝図会稿本」より

馬場 憲一

多摩の金融史(19) 戦時銀行統合と多摩の地域金融

佐藤 政則

多摩の歴史を立体視!—赤色立体地図の風景(12)

調布から三鷹にかけての電害を赤色立体地図で読み解く

千葉 達朗

本の紹介

日野市ふるさと文化財課編『〜川風のおくりもの〜 日野に誕生し

た桑と蚕の研究所物語』

齊藤有里加

国分寺市教育委員会編『国分寺市被災古瓦塼等修復事業報告書』

坂詰 秀一

山本勉著『塩船観音寺』

佐々木守俊

◆調布市郷土博物館だより

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1978年創刊

◇83 2022.3 A4 8p

一年越しの東京二〇二〇大会を迎えて

令和三年度夏季企画展関連事業「1964年聖火ランナーによるゲストイ

ベント」トークイベント抄録 ゲスト紹介 大塚一郎さん・堀江春

洋さん／トークイベント抄録

芝崎由利子

暮らしのなかの厄払い行事

家の厄払い行事／村の厄払い行事

関口 宣明

コロナ禍の郷土資料館(令和二、三年度の記録)

小堀 槇子

◆調布の文化財 調布市郷土博物館

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1986年創刊

◇62 2021.3 A4 8p

国登録有形文化財・真木家住宅洋館の実態調査

文化財レポート 海軍創設の立役者・真木長義

桑原 隆

文化財レポート 真木家住宅の現況実測調査

立川 明子

◇63 2021.11 A4 8p

国史跡下布田遺跡の整備基本計画を策定しました！

下布田遺跡史跡整備

立川 明子

新指定の文化財 市指定有形文化財(考古資料)「入間町城山遺跡第55

地点1号・2号・4号竪穴跡出土遺物」 員数：土器71点、石器50点、

計121点 年代：縄文時代中期 指定：令和3年3月31日

長瀬 出

文化財講演会抄録 中村耕作氏「耳飾を着け石棒を祀る」

◆伝 え 日本口承文芸学会

〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25 白百合女子大学人間総合学部 間宮史子

研究室 TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊 <https://ko-sho.org>

◇70 2022.2 B5 6p

蝙蝠の気持ち

伊藤 龍平

追悼 福田晃先生、ありがとうございます。

黄地百合子

第80回研究例会報告 昔話の録音音源の保存と活用 小池淳一「昔話

録音音源の処理と発信—青森県史における口承文芸調査資料から、

関根綾子「昔話音声資料の活用」、法橋量「ドイツにおける「語り」

のアーカイヴ」

今井 秀和

受章 川田順造先生を祝う

高木 史人

特集 各地の語り・語り手・語りの場の紹介 「戦争と平和の資料

館 ピースあいち」 戦争体験の語り・語り継ぎ

赤澤ゆかり

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-

3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-

7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇153 2022.3 A4 6p

2022年度東京産業遺産学会総会される

東京産業遺産学会 2022年度総会の概要

「品川白煉瓦」の耐火レンガ、富山市で出土

一北陸地方で初の発見

文・写真 奥原一三

2011.11.27 東京産業遺産学会 特別講座(於：物流博物館)「群馬の

蚕糸を中心とした産業遺産の現状と保存」

大島登志彦

報告 講演会「岸一太の達成した赤羽飛行場の解明に挑む」 文・写真 柚須紘一

研究発表会「ドイツにおける産業用軽便の歩みと展示」 報告

久保 健

茨城県常陸太田市の赤煉瓦建築物(7)

「剛烈酒造の煉瓦煙突と煉瓦塀」

文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073江東区北砂1-5-4 政治経済研究所 TEL03-5857-5631

年2000円 2002年創刊 <https://www.tokyo-sensai.net>

◇40 2022.2 A4 12p

《20周年記念号》

巻頭言

センター開館20周年にあたっての所感

そして未来に出会うみなさまへ

子どもたちにいのちと平和の尊さを

「仮埋葬地図・慰霊碑から見る東京大空襲被災地図」

開館20周年を迎えて思うこと

20年の沿革

夏休み特別企画「みんなで学び、伝えよう！東京大空襲」開催報告

ガイドボランティアとして思うこと

吉田 裕

齊藤 壽彦

早乙女勝元

工藤 芳弘

大竹 正春

二瓶 治代

比江島大和

後藤 律子



* 東京大空襲・戦災資料センターは、2000年3月に東京空襲を記録する会と財団法人政治経済研究所が「平和のための戦争・戦災センター」建設を呼びかけ、

4000名以上から寄せられた1億円を超える募金により、2002年3月に財団法人政治経済研究所の付属機関として開館してから20年になる。

東京空襲を記録する会は申すまでもなく1970年に早乙女勝元氏(センター名誉館長)が立ち上げたもので、膨大な空襲・戦災の文献や物品を収集してきた。だが、決定されていた東京都の「平和祈念館(仮称)」建設計画が1999年に凍結となったことで、「やむにやまれぬ思いで」政治経済研究所とともに民間募金を呼びかけたとのことである。

現館長の吉田裕氏は巻頭言で、これまで、「戦争体験は継承されなければならない」ことを自明の前提としてきたが、「戦争体験の継承は、「風化に抗う」時代精神の中から生まれてきたもの」であり、戦争体験者がいない若い世代に伝えていくためには、体験は「なぜ」継承されなければならないのかの「問いの立て方が必要」と述べる。

また、早乙女氏は、「10万の死を語り伝えることは、「なぜそれが起こったのか」「どうして死ななくてはならなかったのか」を問うこと」であり、「生き残った者の使命」という。同氏は今年90歳になり、現在闘病中であるという。

空襲を記録する活動は、東京のみならず、土崎港被爆市民会議(秋田県)、仙台・空襲研究会、浅川地下壕の保存をすすめる会(東京都)、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会(東京都)、川崎中原の空襲・戦災を記録する会(神奈川県)、浅川地下壕の保存をすすめる会(東京都)、吹田の空襲を語り継ぐ会(大阪府)、神戸空襲を記録する会、戦争と平和の資料館ピースあいち(愛知県)、平和資料館・草の家(高知県)、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークなど全国で地道に続けられており、その全国連絡会議も1971年から毎年開催されている。ウクライナの状況を知るにつけ、こうした活動の重要性、意義はますます増しているのではなかろうかと思う。戦争を知らない世代が大半を占める現在、どのように継承していくのか、大きな課題である。

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇56 2022.2 B5 20p

巻頭言 高知県四万十川流域の二つの祭り

岩井 正浩

第34回京都大会報告

第34回京都大会を終えて

星野 紘

基調講演 祇園祭研究—祇園囃子のあれこれ

植木 行宣

シンポジウム

京都での学び、京都大会につながる

入江 宣子

民俗芸能復興の可能性と行政からの支援の限界	福持 昌之
シンポジウムに参加して	増田 雄
発表を終えて	鈴木 昌和
「民俗音楽継承の未来」のシンポジストを務めて	梁島 章子
発表余話	
地元の伝承に役立つ録音資料を残したい	金城 厚
「伝統」「音楽」「教育」をどうつないでいくべきか	黒田 清子
オンライントラブルから得た新知識	安原 道子
第34回京都大会での発表を終えて	加藤いつみ
大会参加記	
京都大会(Web配信)に参加して	川内 由子
第34会京都大会を振り返ってみて	蘭田 郁
民俗芸能公演 国指定重要無形民俗文化財「京都の六斎念仏」伝承 の危機を救う子どもたち—「京都こども六斎教室」にかかわって	
「伝統音楽の価値」に気づく	藤田 加代
第34回京都大会報告 カメラリポート	
2021年度日本民俗音楽学会総会報告	
理事会報告／「小島美子・藤井知昭基金」運営委員会から	
常置委員会からのお知らせ	
機関誌編集委員会	尾見 敦子
調査・研究委員会	萬 司
行事企画委員会	北見真智子
会報編集委員会	懸田 弘訓

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇109 2021.9 A4 4p

東京文化財ウィーク2021 11月1日～7日 尾崎遺跡の展示説明会／石
神井公園ふるさと文化館主催 東京文化財ウィーク2021参加事業
石神井城跡発掘パネル展、特別公開「小野蘭山墓誌」、通年公開
「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」、企画展「思い出のとしまえん」、
区登録文化財 石神井西尋常小学校のリードオルガンの演奏～ふし
ぎな楽器リードオルガン

「力持ち惣兵衛の馬頭観音」が移設されました

田柄用水の増水工事／解説「契約之証」

◆ミコタマ 多摩のヨコガオ発見プロジェクトフリーマガジン

帝京大学総合博物館

〒192-0395八王子市大塚359

◇2 2021.9 B5 47p

表紙写真 矢川（朝顔の里）

《特集 水がつなげる多摩の物語》

今号の取材マップ

part1 水と生きる

川のごみから見える世界

文・工藤玲奈／写真・寺澤頼来

湧き水と清流のほとりの農園 朝顔の里を訪ねる 文・写真 堀越峰之

part2 奥多摩と東京の水がめ 東京の水がめを見に行く

「奥多摩むさし道」一日登山

文・魯娜／写真・張小寒／文・写真 堀越峰之／ガイド・甲田篤郎

part3 多摩川の自然と歴史

35+103km先の景色 多摩川最初の一滴滴る場所

文・写真 甲田篤郎／マップ加工作成・松本健吾

多摩川×散歩 私の知らない魅力を探しに 文・写真 野口愛由

多摩川×散歩 耳をすませばの聖地をめぐる 文・写真 海老沼美琴

江戸の大事業 羽村取水堰 文・写真 荒井涼花

「人間失格」～太宰治の最期の地を訪ねる 文・写真 三好龍之介

part4 武蔵野湧き水めぐり

お鷹の道・真姿の池湧水群～湧き水の聖地とその魅力 文・写真 祝ちとせ

竹林公園～竹と湧き水 文・写真 小松結衣

心安らぐ湧き水 ママ下湧水公園 文・写真 染谷美紅

からきだの道 緑豊かな多摩の自然 文・写真 安井菜緒

part5 水に親しむ

雨の日に読みたくなる話 『100年前に降った雨：貫井物語』 著者：

野口由起子 出版社：ふゅーじょんぷろだくと 2001年／『幻談・

観画談』 著者：幸田露伴 出版社：岩波書店 1990年／『ちい

さなきいろいかさ』 イラスト：にしまきかやこ シナリオ：も

りひさし 出版社：金の星社 2004年

文・中田美涼

暑い夏をのり切ろう！ ジョギングと水分補給

一帝京大学駅伝部 中野監督に聞く

文・小川果梨

美しい自然 瓜生緑地

文・山崎柚夏

自然の中の鏡 多摩中央公園きらめきの池 文・写真 下坂愛梨沙
 水の中の小さな世界 文・写真 郭源／文・写真 堀越峰之
 水の世界の掃除屋さん 知られざるタニシの生態
 こらからのタニシ 文・写真 上原有響
 特集まとめ 水がつなげる多摩の物語
 キャンパス自然観察だより キャンパスの「梅仕事」

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室

2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp>

◇20 2022.3 B5 99p

「信教自由」と真宗僧侶

一真宗同盟惣代の大教院分離反対運動をめぐる 辻岡 健志
 大名華族の旧領地における鉱山経営

一明治期中期の島津家を事例として 寺尾 美穂

本会創立40周年企画「明治維新史学会創立四〇周年に想う」

私と明治維新史学会 高木 不二

明治維新史学会の思い 勝田 政治

維新史学会を顧みて 羽賀 祥二

明治維新史学会の思い出 青山 忠正

書 評

明治維新史学会編『明治維新史論集二 明治国家形成期の政と官』山口 亮介

三宅詔宣著『幕末維新の政治過程』久住 真也

今村直樹著『近世の地域行財政と明治維新』上田 長生

三村昌司著『日本近代社会形成史―議場・政党・名望家』崎島 達矢

新刊紹介

上條宏之著『木曾路民衆の維新改革―もうひとつの『夜明け前』』安部 玄将

山崎香著『正義隊事件―幕末維新时期における松前藩の政争』亀尾 美香

力武豊隆著『月形洗蔵―薩長連合その先駆者の背景』笹部 昌利

大会記録 第50回明治維新史学会 創立40周年記念大会記事

彙報 2021年度明治維新史学会総会記事

神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課

TEL046-225-2060 2010年創刊

◇25 2021.8 A4 4p

古代(七世紀後半)の評の設置と分割—愛甲郡の成立を考える

鈴木 靖民

◇26 2022.4 A4 4p

女流民権家 富井於菟小考

内藤 佳康

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TEL045-364-4456 1994年創刊

<https://archives.pref.kanagawa.jp>

◇46 2022.3 A4 2p

ミニ展示「畠山重忠と二俣川」

渡辺 真治

資料紹介 相模国愛甲郡宮ヶ瀬村落合家文書

上田 良知

資料紹介 近年引き渡された公文書から(圏史道関係)

吉村 雄多

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇92 2022.3 A4 2p

かまくらの保育—明治・大正

多和田真理子

明治幼稚園を設立した若き教育者 小川琴

石崎 和子

シリーズ：私たちの「戦争体験」No.16

第3話「新潟市の空襲から玉音放送」

曾原 糸子

鎌倉市生涯学習センター条例改正について

(曾原)

図書紹介 『戦争は女の顔をしていない』スヴェトラナ・アレクシ

エーヴィチ著(岩波現代文庫)

(高階)

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内(事務局:西村健)

TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇92 2022.2 B5 4p

研究例会 第120回例会 テーマ「江戸から東京へ」趣旨説明「江戸から東京へ」落合功／第1部「江戸周辺論の再検討—大石学監修『江戸周辺の社会史』を手掛かりに」／第2部 シンポジウム「江戸から東京へ」／次回の研究例会 2022年度総会・第121回例会(予定)

情報ネットワーク 展示会情報!

第120回例会「江戸から東京へ」プログラム

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内
Tel.045-481-5661 年5000円 <http://www.mingu-gakkai.com>

◇163 2022.2 B5 48p

低腰鍬とは何か—その実態と誕生経緯

河野 通明

研究会参加報告

第156回研究会「復興を支える地域の文化—3.11から10年—」・（オンライン展覧会解説）「民具研究に有効なオンライン研究会の模索」

加藤 幸治

第157回研究会「近年の新設館や展示リニューアルにおける民具の役割—展示施設における民具の役割と可能性」

河村友佳子

第158回研究会「近代日本の釣り具の変化」

岩野 邦康

2021年三学会（日本民具学会・道具学会・日本生活学会）共催シンポジウム「民具と道具と生活用具—モノから暮らしをみつめる」

磯本宏紀／神野善治

書 評

志摩市教育委員会編集・発行『志摩市文化財報告Ⅰ 志摩半島の生産用具及び関連資料整備事業報告』

内田 幸彦

河島一仁『職人集団の歴史地理—出稼ぎ鍛冶の地域的展開』

評者・河野通明

展示批評 令和3年度 第45回郷土先人展「佐伯安一の軌跡」

砺波市立砺波郷土資料館・砺波民具展示室（砺波市立砺波郷土資料館分館）

評者・石垣 悟

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 Tel.045-481-5661 年3500円
1968年創刊

◇647 (54-11) 2022.2 A5 24p 350円

玩具・ビデオゲームの展示

—愛荘町立歴史文化博物館の夏季特別展から

西蓮寺 匠

戦後沖縄の石敢當受容

蔣 明 超

書籍紹介 加藤和徳著『農具「唐箕」の伝播—羽前上ノ山と旧中川村の事例』

佐々木長生

◇648 (54-12) 2022.3 A5 24p 350円

家庭への電灯の普及について

野々村明佳里

民具短信

企画展「布 うつくしき日本の手仕事」を終えて

刈田 均

特許から見える鳥取倉吉の「千歯」から「太一車」産業への変遷 北村 隆雄
第54巻総目次
日本常民文化研究所 2021年度活動報告より

新潟県

◆観賞 新潟文化財観賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19 斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740 年4000円

◇43 2022.2 A5 80p

巻頭言 新潟市文書館の開館の寄せて—今後期待したいこと	斎藤寿一郎
「新潟盆踊り歌」と「新潟甚句」—二つの歌のはざまで起こったこと	伊野 義博
沼垂町並み散策	渡辺 博
坪井良作の生涯と「坪井子敬碑」—附、北湊新聞	杉山 巖
近世の魚沼郡野口村	富井 秀正
資料紹介 地方文書をよむ 黒船来たるの報を聞いて	中村 義隆
越佐地方史談話会第十三回大会の報告	後藤 一雄

事務局だより 文化財ニュース（世界遺産、ユネスコ無形文化遺産、令和二年度国指定文化財（有形文化財（考古資料） 本ノ木遺跡出土品、天然記念物 糸魚川市根知の糸魚川—静岡構造線、令和二年度国登録文化財、令和二年度新潟県指定文化財（有形文化財（絵画） 絹本著色十二天絵像 二幅（柏崎市慈眼寺所蔵）、有形文化財（絵画） 絹本著色日現像 絹本著色絵曼荼羅 絹本著色小絵曼荼羅（三条市本成寺所蔵）、有形文化財（考古資料） 山草荷遺跡出土品（新発田市教育委員会所蔵）、有形文化財（古文書） 関山家文書（妙高市関山支所所蔵））／令和三年例会等行事

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402
1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇423 2022.2 A5 56p

《備え・そなえる 特集》

祈りに備えを込めて	池田 亨
そなえて 暮らす 工夫・祈り	金田 文男
雪国の防寒着「角巻」—「明治・大正・昭和の着物」(3)	岩野 笙子
豪雪地の生活の知恵—栃尾の雁木から見えてくるもの	星野 紀子
「ねずみ穴」が記載されている史料の紹介	山上 卓夫

セキレイ(鶺鴒)・ミソサザエ・モズ(百舌)のことなど
 表紙写真 阿賀路のショウキサマ信仰
 小報告 アマメハギと雪囲い
 報告 令和三年末談話会報告

森 俊
 駒形 魁
 金田 文男
 森 行人

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内
 TEL025-222-2262 1978年創刊

◇176 2022.4 A4 16p

「閑居」(森田沙伊・画) (出雲崎町良寛記念館蔵)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(25) 良寛に心を寄せる先にあるもの

良寛遺墨鑑賞(24) 由之宛書簡 この頃出雲崎にて

岡村 鉄琴
 小島 正芳

良寛堂建立100周年記念 第44回全国良寛会出雲崎大会予告／良寛堂
 建立100周年を記念し、多彩な催しを計画しております。

良寛さんが生まれた出雲崎から(中)

渡邊 モト
 柳本 雄司

追悼 瀬戸内寂聴師と新潟

全国から四二四首 若い人が半数

良寛椿の会 短歌募集

安藤 瑞子

坂東眞理子賞について

向後 千里

短歌募集の総評

下村 とし

一席に新潟市の立花純子さん／一席を受賞して

立花 純子

忘れ得ぬ人びと(7) 水上勉氏の変容

加藤 僖一

良寛を今に伝えた人びと(6) 近藤万丈

本間 明

相馬御風の良寛(25) 「衆生俱済」の発願

金子善八郎

山口霽亭先生との思い出ー良寛関係書籍収集の恩師

岡田 守

十六年間続いた「しばた良寛講座」 経過と現状について

星野 淳雄

トピックス

加藤僖一氏が新潟県立図書館に著書や研究資料などを寄贈

吉井 清一

新潟西海岸公園の良寛詩碑清掃

加藤 僖一

貞心尼没後百五十年を記念して貞心尼展と貞心尼像除幕式

四月に長岡市で

安達 武男

新刊紹介 『温良について厳正 良寛さん』

柳本 雄司

会報紹介

にいがた良寛第75号(新潟良寛会)、良寛第109号(分水良寛会)

吉井 清一

良寛を訪ねて(25) 乙子神社(下) 「命のとし火」

富 山 県

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊 <https://shidankai.web.fc2.com>

◇197 2022.3 A5 80p 1300円

棟札に見る婦負の中近世

松山 充宏

戦国期朝倉氏・上杉氏の北陸への影響と両氏の関係

一畠山恵祐・義綱父子の帰国作戦時における両氏と北陸情勢

塩谷 慎久

近代初期、富山売葉の苦難と克服の履歴—富山売葉の知恵と工夫

米原 寛

史料紹介 立山・伊勢・西国道中記(上)

鈴木 景二

令和三年度研究発表大会発表要旨

遺跡からみた中世荘園—堀江荘と周辺遺跡との関係を中心に

盛田 学生

『乙夜之書物』解題—佐々成政の富山城酒宴記事の紹介も兼ねて

萩原 大輔

戦後富山の文化を支えた人々—久泉迪雄氏旧蔵資料の検討から

小林加代子

最近の地方史情報

高森 邦男

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年4000円

1974年創刊

◇96 2021.9 A5

◇97 2022.1 A5 21p

近世漁民の漁場認識—越中灘浦・氷見浦を中心に

中村 只吾

流行病の忌避を告げに来る異容な物達—医師の伝説記録より

菊池 武

富山市いたち川沿いの地蔵尊—活発化する地蔵信仰によせて

尾川 裕樹

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊 <http://odatakeo.wp.xdomain.jp>

◇66 2024.4 A4 8p

お宮さんに不動明王が鎮座される 南砺市の神社の場合

尾田 武雄

大沢野町寺家公園の和気清麻呂像

平井 一雄

水の女神、海の女神

滝本やすし

和気清麻呂の太子像

金子 榮子

岡西光寺の石仏

滝本やすし

石 川 県

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊

◇24 2021.12 A5 238p

皇籍離脱の際に支出される一時金額による皇族費再考 川田 敬一

豊宮崎文庫の蔵書目録について(2) 平泉 紀房

大学講義のオンライン化における一試行2

ー基礎教育科目「修学基礎A・B」の場合 村本 美春

KIT-VJIT インターンシップにおける講義に関する事例報告

ーコロナ禍対応としてのオンライン化 石川 倫子

史 料

翻刻『靈應山平泉寺大縁起』 平泉 隆房

熱田神宮編年史料(稿本) 中世十六 藤本 元啓

福 井 県

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会

〒918-8113福井市下馬町51-11 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860

年3500円 1956年創刊

◇313 (66-2) 2022.2 B5 76p

前期敦賀県の布達について 吉田 勲

南北朝・室町期越前国大野郡の守護支配体制再考 河村 昭一

若狭武田氏の小浜における拠点形成

ー「在浜」「出浜」文言の検討を中心に 笹木 康平

W・E・グリフィスが昭和二年に訪れたホームズ宣教師一家について

布施田哲也

坂井市みに龍翔館所蔵『丹後国夷屋文書』について

上原 康生

蓮如上人と見玉尼

阿部 法大

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇117 2022.4 A4 4p

市民研究員候補・歴史研究活動助成・飯田歴研賞2022年候補作品を募集します 市民研究員候補募集／2022年申請 研究活動助成募集／飯田歴研賞2022年候補作品募集

研究紹介 座光寺「明治期地番図」から景観の三次元構造を読む 福村 任生

新刊紹介 『オーラルヒストリー3 生存の地域史をかたる』／飯田・

下伊那史料叢書 近世史料編3『延宝二年 飯田御用覚書』

地域史講座 「1674年、堀家飯田藩と社会―『延宝二年 堀家飯田藩と社会』を読む」 講師：吉田伸之

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1126 (70-3) 2022.3 A5 50p 550円

口絵 隣政寺裏の吉田山にある戒壇不動(磨崖仏)

松上 清志

飯田城下町図と飯田町(1)

伊坪 達郎

江戸時代の感染症と人々の対応～現在の高森町や富士見町の事例から

塩澤 元広

今田の里の人形浄瑠璃芝居一育て支えた今田の里と人々(2)

第三章 人形浄瑠璃を受け入れた今田の風土

大原千和喜

「風越山」地名のこと

今村 理則

下伊那日録 2016(平成28年)12月・2017(平成29年)1月～5月

◇1127 (70-4) 2022.4 A5 50p 550円

口絵 大鹿歌舞伎の舞台(大碓神社舞台)

北村 尚幸

江戸時代の扶養を巡る争いと村落

前澤 健

飯田城下町図と飯田町(2)

伊坪 達郎

高森町の秋葉信仰調査報告(上)

鈴木 信孝

織田信長と戦った宮島但馬の雪月園

鈴木 利彦

市村四兄弟に学ぶ

竹村 雄次

古墳時代の衝角付冢小考

木下 政利

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇782 (66-3) 2022.3 A5 48p 600円

《竹入弘元先生 追悼号》

表紙 守屋貞治の石仏調査 2018年 愛知県設楽町

上伊那郷土研究会

竹入弘元先生「追悼号」刊行にあたって

山口 通之

回想―竹入弘元先生を偲んで	池上 正直
竹入弘元先生を偲ぶ	清水 満
伊那市教育委員会 竹入弘元先生の偉大な功績	白鳥 孝
高校教師の同僚	
竹入先生とのご縁	宮脇 瑞穂
竹入弘元先生を偲んで	畑田 奎二
竹入弘元先生に感謝します	桜井 裕記
竹入弘元先生の思い出―上伊那「高退教」との関わりを中心に	久保田 誼
井上井月顕彰会	
竹入先生に井月の句を捧げます 朝露のままで手向けん蓮の花	北村 皆雄
竹入先生との旅の思い出	矢島 太郎
竹入先生追想	宮澤 宏治
竹入先生の温顔	翁 悦治
竹入弘元先生・井月のこと	井上 秋魚
石仏・民俗研究	
竹入先生の石仏調査とその指導	田中 清文
二人三脚で放送した「伊那谷の石仏」	伊藤 秀男
伊那谷の石仏とともに―さようなら竹入先生	熊谷 友幸
竹入先生の面影	三石 稔
古文書研究会	
竹入先生を囲んでの「伯先研究会」の思い出	北原 明
竹入先生と伊那古文書研究会	小澤 敏美
向山雅重資料保存会 天空高く雲の上から	
―竹入弘元先生と向山雅重資料保存会	丸山 輝子
高校時代からの友人 六畳間と古い仲間	根橋 信水
高校教師時代の教え子	
追憶 竹入弘元先生	関 宗蔵
菁々寮の先生	原 泰
竹入弘元先生の記憶しておきたい事柄	矢島 信之
音楽会の思い出―合唱曲は「石仏」	五味 郁子
大学教員を終えるに当たって書いたこと	浦野東洋一
消えた稗之底村	伊藤 一彦
ご遺族より ダイヤモンド婚式	竹入 良子
竹入弘元先生の略歴・業績 略歴・職歴／諸団体の会員・役員等／主	
な著書／寄稿一覧	
徒然さんば(32) 小野宿問屋 辰野町小野	絵と文・吉田勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇128 2022.3 B5 8p

表紙 酒吞童子の飾り屋台／大宮諏訪神社式年祭光景之一（西村博充氏提供）

櫻井 弘人

飯田お練り祭りの変貌—明治時代から今日まで

櫻井 弘人

柳田館資料整理報告(2)

「歴史大学」の歴史を探る

栗谷真寿美

後藤総一郎氏史料をたずねて

安岡 健一

叢書7『『信州随筆』を読む』刊行に向けて

宮下 英美

報告 通常例会 下條村・大山田神社の祭礼—獅子舞・湯立神楽・歌

舞伎・人形芝居

文責・今井 啓

表紙写真解説 大宮諏訪神社式年祭光景之一

櫻井 弘人

報告 民俗調査特別部会 小西染物店の思い出を聞く

今井 啓

◆伊那民俗研究 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>

◇29 2022.3 A5 197p

2021年度総会記念講演 柳田学と後藤民俗思想史をつなぐ

—『信州随筆』と『遠山物語』を中心に

小田 富英

第4回伊那民俗研究集会「御柱祭と諏訪信仰」特集

御柱祭をどう考えるか

小川 直之

中世諏訪神話の生成とその信仰

青木 隆幸

諏訪系神社における御柱祭の受容と展開

櫻井 弘人

風切鎌は諏訪信仰か

今井 啓

伊那谷南部のミシャグチ信仰

今村 理則

飯沼郷の御柱祭と社宮司祭

中島 正韶

屋台獅子の音楽的遡源—瑠璃寺の獅子舞にみる「昇殿」のモチーフ

川崎 瑞穂

資料紹介 『夏目一平日記』—早川孝太郎関係日誌抄

翻刻・注釈 伊藤正英

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0928長野市若里6-6-2 1994年創刊

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇29 2022.3 A4 223p 1500円

はじめに	萩原 健司
南宮遺跡における集落構造	
一集落最盛期の一〇世紀中葉、祭祀の器等に視点をあてて	鳥羽 英継
創建時の善光寺(芋井草堂)の場所についての試論	草間 律
大正七年御開帳行列図と仁王尊像	袖山 榮眞
長野県の林業と戦時における村の林業	
一更級郡信田村の具体像をととして	田中 薫
浄土宗第三教区宗教学校の建物について	宮澤 政太
近代における裾花川下流域の大開発	宮下 秀樹
長野県における一九三〇年代の産業構造	
一青少年義勇軍送出の促進と抑止	横山 憲長
長野市内の小池沼の淡水生微生物相	落合 照雄
川中島の戦いと旗塚	町田ゆかり
戸隠神社中社大鳥居 昭和期再建時の設計思想に関する一考察	宮川 和工
南宮坐日吉神社所蔵「矢沢頼幸・出浦昌相連署状」について	
一いわゆる「元和九年四月四日真田信之寄進状」の検討	中島 丈晴
『白神記』に見る佐久間象山の種痘の経緯と手塚良斎	北澤 忠雄
巻頭グラビア	
真田家伝来 浦賀紀行図 甲巻	渡辺いずみ
元和九年四月四日矢沢頼幸・出浦昌相連署状(雨宮坐日吉神社所蔵)	
	中島 丈晴
香具師小屋掛関係文書(高橋家文書の内)	樋口 明里
大正七年御開帳行列図と仁王尊像	袖山 榮眞
松岡神社 拝殿竣工工事と鳥居設計図(長野市域の社寺建築史料(5))	
	宮澤 政太
栗原信と信州新町美術館	前澤 朋美
長野市内の小池沼の淡水生微生物相	落合 照雄
坂井衡平の『善光寺史』草稿長野市内の小池沼の淡水生微生物相	草間 律
令和3年度 新収蔵資料目録 歴史的建造物調査関係文書、都市景観 形成モデル都市関係文書、長野市運動公園雨水調製池水処理設備工 事関係文書	

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇865 (74-2) 2022.2 A5 220p 2000円

《特集 『信濃』創刊以来一〇〇〇号記念(下)》

諏訪上社大祝墓地考	鵜飼 幸雄
桶狭間の戦い前夜、今川義元の居場所をめぐって	
―不動の定説「戦い前夜、義元は沓掛」を疑う	竹内 元一
修験道本山派大井法華堂と和合院一近世の請戻しと天保二年の「引分」	
をめぐる「預け同行」・「帰同行」	村石 正行
松代藩における壺本証文と浪人格	原田 和彦
「松本城が傾いた写真」は事実を語っているのか	丸山哲治／後藤芳孝
一九三〇年代における長野県重化学工業化の遅滞について	横山 憲長
下水内郷開拓団と団長田中勇治―雑誌『信濃教育』を手掛かりに	本島 和人
松本の子供行事「青山さま」の成り立ち	
―全国の「青山」祭事との比較から	浜野 安則
ムラ社会の消滅と民俗伝承の変容	
―長野市西山地域の門松飾りの事例を中心として	多田井幸視
「〇〇遺産」考―長野県内の事例を中心に	山口 通之
飯島代官太田作之進の上申書	前澤 健
赤蓑騒動拾遺	小林 茂喜
報告 小諸市古文書調査室の取り組み	市川 包雄
◇866 (74-3) 2022.3 A5 82p 1150円	
《民俗学特集号》	
和市の小屋―愛知県設楽郡の産屋・月小屋	板橋 春夫
長野県下の祇園祭り―津島神社系を中心に	松崎 憲三
長野県の予言獣の展開―アマヒコを中心に	市東 真一
新野の雪祭りの『幸法』と『茂登喜』	近藤 大知
「三とき」の起源について―中世の文献史料に探る民俗の起源と変容	渡邊 太祐

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇288 2022.3 B5 12p

上伊那の奇石道祖神	三石 稔
令和三年度総会・記念講演会に参加して	太田 真理
令和三年度記念講演感想記 樋口明里氏「長野県の屋台分布―北信地域における譲渡関係を中心に」	村田 幸子
書誌紹介 倉石あつ子著『蚕を養う女たち』	下平 武
葉書でつぶやくコーナー 荒れた稲田―安曇野に来て見て驚いた(6)	倉石 忠彦

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 TEL026-232-8050

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇45 2021.4 A4 2p

豊野町のキューロク 「昭和47年度 教委 社会教育 蒸気機関車無償貸与」旧豊野町役場3 昭157／豊野町中央公民館 広場に設置された9646資料 番号N212 ト4

古文書紹介 花押（かおう）

◇46 2021.7 A4 2p

長野市域古文書の保存と公開

古文書紹介 「丸山辨三郎関係文書」(古104-1-11)から “長野市営水泳場(プール)竣工”、城山市民プール(C191-37)

◇47 2021.10 A4 2p

軍医・山本申三氏が遺した資料 九月二日の記事(『当用日記』 古217-1-6)、負傷兵の入船(病院船六甲丸 古217-2-20)、市場の風景(南京城内 古217-2-13)、申三氏が戦地で使用した乾パン入れ袋と水筒(古217-1-15・古217-1-17)

古文書&古書紹介 長野の映画事情

◇48 2022.1 A4 2p

市内中学生 職場体験学習

高校生・大学生・一般の方も見学や学習に来館

岐 阜 県

◆岐阜市歴史博物館だより

岐阜市歴史博物館 〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 TEL058-265-0010／加藤栄三・東一記念美術館 〒500-8003岐阜市大宮町1-46 TEL058-264-6410 1985年創刊

◇110 2022.2 A4 8p

表紙 舞踏傘 桜型 昭和30～40年代

企画展「岐阜和傘」

加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 生命の尊厳」

加藤栄三・東一記念美術館「湧展から風展への軌跡—日本画・陶」

企画展「ちょっと昔の道具たち」

館蔵資料紹介 竹生島図 紙本墨書淡彩 大正～昭和初期
総44.3cm×197.5cm、本紙32.2cm×127cm

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 <https://www.library.pref.gifu.lg.jp/library-information/related-organizations/kyoshiken/>

◇137 2022.3 B5 28p

「美濃国池田御厨某寺奉加帳」と土岐一族

三宅 唯美

美濃衆と本能寺の変

藤田 達生

新刊紹介 郷土関係書籍の紹介 飛騨市教育委員会『飛騨の糸引き公

女調査報告書』、『洲原神社』

早川 万年

史料紹介 美濃国山県高富町天王町「山口彌重文書」資料その三

松尾 隆

慶長十六年における美濃国内豊臣家臣について

—「亥年濃州渡・美江寺・呂久船橋道具割帳」から

入江 康太

「県都・岐阜市の地名」の編集を終えて

宮脇 俊次

書窓の風

岐阜 岐阜城一ノ門の発掘調査

内堀 信雄

可茂 『写真アルバム 可児・加茂の昭和』の刊行

可児 光生

東濃 日本史好きの喜びと願い

小嶋 泉

郷土関係新刊書目録(122)

郷土関係逐次刊行物文献目録(120)

静岡県

◆遠州常民文化 遠州常民文化談話会会報

〒437-0211周智郡森町城下618-1 山内薫明方 年2000円

◇261 2021.12 A4 18p

遠江のひよんどりとおくないフォーラム

名倉愼一郎

常民の食(6) 端午の節供 大かしわ餅と朴葉餅から5月の常民の食

今村 純子

「常民」の農業用水11 通潤橋・通潤用水(熊本県上益城郡山都町)

中山 正典

遠州大念仏

伊藤久仁俊

◆赫 夜一カゲヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 TEL0545-21-3380

<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/index.php>

◇79 2022.2 A4 4p

ふるさと村建物探訪

とんがり屋根がトレードマーク 富士市指定文化財 眺峰館

展示会調査報告 冬のテーマ展「富士のふもとのかまくら時代—源平

合戦などの史跡紹介します」

寄贈紹介 『大正拾年 白三極賣上貫目扣帳』

内田 昌宏

展示会のお知らせ 「トイレの紙さま—おしりふき いまむかし」

秋山 裕貴

展示会のお知らせ 展示室(2) 富士山の玉手箱 特別展示「武田弘富

土山コレクションより 富士山 火鉢展」

瀧浪 和美

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室

年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇522 2022.3 A4 4p

3月例会レジュメⅠ 近代地域社会と「草莽隊」

—遠州報国隊の動向とその伝説化を事例として

馬塚 智也

3月例会レジュメⅡ

近代日本におけるプロレタリア文学の受容と影響

山下遼太郎

◇523 2022.4 A4 4p

4月例会レジュメ ラウンドテーブル・生煮え研究会：ジェンダーに

ついて考えよう—性のグラデーションって? 「くん」付けはハラ

ズメント?! 旦那さん・奥さんに代わる呼び名って?

跡部 千慧

『やすらぎの塔』雑感

大塚佐枝美

訃報 土居和江さん

村瀬 隆彦

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇241 2022.2 B5 4p

井伊の赤備えは“山県昌景隊の継承”だったのか

太向 義明

12月例会報告要旨 「五山派時代の臨濟寺」

伴内 えみ

1月例会報告要旨

「遠江の莊園再考—伊藤俊一著『莊園』に刺激を受けて」

森田 香司

◆みんなと倶楽部 My hometown Kaketsuka MINNATO CLUB 掛塚

〒438-0234磐田市掛塚1459-1 名倉愼一郎方

◇23 2021.12 A4 4p

歴史の町の保存と活用を！ 1年ぶりに開催された津倉家見学会

記事・斉藤朋之

DVD上映会をお囃子演奏で盛り上

一竜洋西会館で掛塚屋台囃子保存会

記事・松山真

「掛塚大工・小栗家」を聴講して

記事・池田大輔

ちょっといーけ？ 小栗庄一さん 85歳(本町) 取材・記事 のりこ&さゆり

愛知県

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

◇71 2022.12 A4 4p

特別展『新編西尾市史 資料編3 近世1』刊行記念「江戸時代の西尾」／岩瀬文庫企画展「刀」

第16回にしお本まつり 文芸コンクール入賞作品 短歌部門 応募作品248首、俳句部門 応募作品330句、川柳部門 応募作品496句

蔵書紹介

『御馬印御纏其外諸合印帳』（100-27）一冊 江戸時代後期写

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇237 (76-2) 2022.2 A5 80p 1500円

水野下野守信元・十郎左衛門再論

井口 友治

毛受勝助家照の実像を探る

中山 正秋

河村秀根冤罪事件関係新出書簡の紹介

―事件の本質と「実録物」の特性に及ぶ

湯谷 祐三

書翰からみた鷲津家とその蔵書

松井 雅文

『琵琶物語』解説・翻刻

服部 仁

◆新編西尾市史だより

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局

文化振興課 西尾市史編さん室 TEL0563-56-8711 2015年創刊

◇8 2022.2 A4 8p

市史編さんの現場から

モノクロの中の西尾
こちら自然部会です。

野呂あづさ
増田 元保

市史編さんの現場から

進め調査隊 金石文を探せ！ 進んじゃいけない道もあるの巻 脇田小百合
主な活動記録(令和3年4月～令和4年1月現在)

『新編西尾市史 資料編3 近世1』刊行記念行事 西尾市岩瀬文庫
特別展「江戸時代の西尾」、特別展開関連行事 古文書講座「江戸時代
の西尾の古文書を読んでみよう」/『新編西尾市史 資料編3 近
世1』を刊行しました

◆豊田市史研究

〒471-0079豊田市陣中町1-19-1 豊田市生涯活躍部文化財課市史編さん室
TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇13 2022.3 A4 124p

口絵 「七州城縄張測量図」(豊田市郷土資料館所蔵)

豊田市内の土偶について

川添 和暁

高橋庄地頭中条秀長の登場と中条時長

松島 周一

明治後期愛知県の土木問題と沖守固県政

羽賀 祥二

山間部小規模電気事業の意義と限界—小原電灯株式会社の事業活動

浅野 伸一

挙母城(七州城)小考

北村 和宏

豊田市山間部のシンルイー綾波の事例

神谷 幸夫

◆まつり まつり同好会

〒458-0006名古屋市長区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円
1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇83 2021.12 A5 78p 2000円

《特集 愛知の信仰と芸能》

山奥の小さな村の小さく光る宝物

—東三河「黒沢田楽」の半世紀の記録から

米津 俊裕

愛知県碧海地方の雨乞について—高浜・刈谷の事例から

天野 卓哉

熱田神宮摂社南新宮社の疫病退散の祭事について

—近世江戸期を中心として

野村 辰美

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市長区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497 年5000円

1961年創刊 <http://www.wa.commufa.jp/matsuri/>

◇618 (62-2) 2022.3 B5 8p 600円

表紙写真の言葉 植木の三申踊り 福岡市直方市植木日枝神社

4 月最初の申の日に近い日曜日

坂本 要

初七夕の切子灯籠顛末記—津島市の事例から

鬼頭 慈都

三河の浄土宗尼僧・颯田本真尼と慈善事業

西橋 朋子

民俗芸能情報 新指定重要無形民俗文化財等 重要有形民俗文化財

吉田口の富士山信仰用具／重要無形民俗文化財 八王子車人形、静

岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽、箱根の湯立獅子舞、沼田・大坂の

湯立神楽／記録等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 大芝の七夕

馬製作技術

◆MIXED MUSES 愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース紀要

〒480-1194長久手市岩作三ヶ峯1-114 愛知県立芸術大学音楽学部内

Tel.0561-62-2749 <https://ai-arts.repo.nii.ac.jp/>

◇17 2022.3 A5 70p

《井上さつき教授退職記念号》

兼田敏「ピアノ曲集《16DAYS》の分析

成本 理香

1960年代の「名もなき人々」の文化実践を考えるために

—中津川労音に持たれたイメージを手がかりとして

東谷 護

上海のモーター商会と近代日本のピアノ製造

井上さつき

日本のポピュラー音楽をどうとらえるか—私的研究史からの試論

東谷 護

音楽学研究総合ゼミ報告 総合ゼミ報告

—今年度(2021年度)の実施状況

紅村 兆乃

特別講座報告 寺内直子先生「名古屋の雅楽の歴史と豪商吉田家旧蔵

の雅楽器について」

紅村 兆乃

井上さつき教授退職記念特集

井上さつき先生 プロフィール

井上さつき教授退職記念最終講義 開催報告

七條めぐみ

◆もりやま 守山郷土史研究会

〒463-0075名古屋市守山区市場15-12 道木正信方 Tel.052-791-2304

年3000円 1982年創刊

◇41 2022.3 B5 156p

口絵 平成元年の新聞折り込み広告

天井川と共に「成長」した矢田川の霞堤

加藤 武彦

明治二年広小路にさらしもの多くあり 下(5)

一身体拘束具(戒具)寸見	加藤 英俊
聞き書き むかしの守山	道木 正信
昭和五年国勢調査 矢田町住民の職業について	馬場 勇
「変貌し続ける瀬戸線」そして	荒川 康彦
魏志倭人伝と邪馬台国についての一考察	木村 和志
「もりやま」1~40号事項索引	守山郷土史研究会
守山郷土史研究会の歩み(41)	守山郷土史研究会
資料紹介	
原田久司記 わが町「矢田」	伊東 重光
守山村白山神社郷蔵文書 補遺	道木 正信
守山村庄屋 住家重兵衛文書	道木 正信

三 重 県

◆三重県史研究 三重県環境生活部文化振興課歴史公文書班

〒514-0061津市一身田上津部田3060 三重県総合博物館 3 階 TEL059-253-3690
1985年創刊

◇37 2022.3 A5 59p

口絵 稲葉家文書「稲葉小左衛門様分御物成米」文政11年(1828)

三重県所蔵

戦国期伊勢神宮における公・武祈禱	飯田 良一
年中行事書にみる伊勢御師の家政と階層	太田 未帆
報告 『三重県史』編さん事業の概要	吉村 利男
県・市町史編さんの動向 『新編朝日町史』資料編 2 文献史料	竹内 弘光

◆三重の古文化 三重郷土会

〒514-2305津市安濃町清水1008 浅生悦生方 TEL059-268-2671
年4000円 1947年創刊

◇107 (通148) 2022.3 A5 199p

度会郡万野遺跡採集の帛状耳飾について	奥 義次
持統天皇の伊勢行幸	
一『日本書紀』と『皇太神宮儀式帳』から見るその意義	加山 久富
浜辺に寄り来るもの、川岸に流れ着くもの	
一付、伊勢湾西岸における「常世」の行方	久志本鉄也
松阪の豪商・鈴木家(屋号・伊豆蔵)について	大喜多甫文

松阪市清水町「乾家文書」から、津藩銀札御用に関わる史料群について

て	杉本 喜一
松坂城下鍛冶町の形成と運営	松村 勝順
水天宮富商一本居宣長母の実家再考3	鶴川 貞二
石仏と広休らの本草物産問答	小玉 道明
市川塔南所蔵「十七帖」について	井上 孝榮
上出又吉と松浦武四郎	森川 正美
伊東富太郎の足跡(12)―『桑名日記』其式	石神 教親
四日市市河原田町の大正期「伊勢講」新史料	辻 直樹
第五福竜丸事件と三重県内の関連する記録―補遺	田中喜久雄
明和町文化財保存活用地域計画の認定について	乾 哲也
史料翻刻 山城屋水谷家文書	三重郷土会古文書勉強会
資料紹介 津緹子襦袢地と明治の鶏卵紙写真	浅生 悦生
新刊紹介	

『前田菊叢全集』三巻 八木敦夫編集・発行

『知られざる郷土史 3 津とその周辺』浅生悦生編著

新聞記事から―2021年

下村登良男

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇179 (46-2) 2022.4 B5 88p 600円

表紙 玄宮園 馬場から見た玄宮園 撮影・中村憲一／デザイン・石井章
《特集 彦根城は語る》

プロローグ

カラーグラビア 彦根城が語る400年 東西の境で見た戦と平和 中井 均
響き合う「江戸の一流」―野村勘治さんと玄宮楽々園を歩く

世を寿ぐ「鶴亀」の庭	聞き手・三宅貴江
太守の「二つの顔」 隠狭間はなぜ隠すのか	高田 徹
能舞台が語る武家社会 城郭の御殿で唯一現存	振角 卓哉
文化財調査は語る 彦根城を読み解くキーワード	谷口 徹
彦根城が語る普遍的価値 世界遺産登録に向けて	鈴木 達也
藤樹、季吟、近江商人…… 近江で探る江戸文化	細川 修平
1万8306点 井伊家近代文書から見る彦根城	

- 軍事・政治拠点から市民の城へ
公文書が語る城の近代
時告げる鐘 軍管理下でも搦き手の通行許可 (稲田)
外堀の養魚場 昭和41年まで全面活用 (稲田)
消えた外濠 マラリア撲滅へ戦後埋め立て (門田)
近江の懐(20) 石部宿
「京立ち石部泊まり」、石部の「豆講」 加藤 賢治
石部の3軒、mame Co- (マメコー・豆講)、DONGREE BOOKS &
STORY CAFE、まるとしかく 石川 亮
ぶらり近江はっけん伝(20) 朽木 岸野 洋
歴史の玉手箱(23) 甲賀路をゆく関西鉄道 岡本 和己
カラーグラビア
琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人とは織りなす歴史と今(5)
固有種イサザのたどってきた歴史
文・琵琶湖博物館 田畑諒一／写真・オザキマサキ
祭の美 祈りのかたち(13) 大胆繊細、食材アート 写真・文 川島朱実
万葉の旅人(12) 我妹子に逢坂山を越えて来て泣きつつ居れど逢ふ
よしもなし(巻一五一3762 中臣宅守) 文と曲・林博通／画・鈴木靖将
カラー特別企画 生誕150年山元春挙特集
生誕150年 山元春挙 その創作と滋賀・大津 大原百佳子
膳所で開花、B面の春挙 蘆花浅水荘の建築・意匠・道具 横谷賢一郎
近江の黎明 相谷熊原遺跡から探る縄文の世界(5)
石棒と石皿、祖先の世界へと再生 松室 孝樹
トムさんの日野暮らし(7)
A I時代の忘れ物 棚田に水配る小石。その知恵に学ぶ トム・ヴィンセント

◆彦根城博物館だより

- 〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊
<http://www.hikone-castle-museum.jp>
◇136 2022.3 A4 4p
テーマ展 合戦の現場―井伊家の軍勢と集団戦
紙采配 当館蔵
展示案内 テーマ展 合戦の現場―井伊家の軍勢と集団戦、特別公開
国宝・彦根屏風、テーマ展 軍記物語の世界―語り継がれる名場面、
テーマ展 能を彩る道具―小道具と作り物
研究余録 金亀玉鶴 湖東焼の絵付師、幸斎の色絵作品 奥田 晶子

京 都 府

◆大山崎町歴史資料館館報

〒618-0071乙訓郡大山崎町大山崎字竜光3 TEL075-952-6288 1995年創刊

◇27 2021.3 A4 16+12p

調査・研究報告29

小企画展『大山崎天王山天神八王子社文書』について 福島克彦／北添尚子

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇236 2022.1 B5 58p 1800円

室町初期の祇園会一院政権から幕府政権へ

倉田 尚明

天明の大火と壬生狂言

八木 智生

芸能史ノート 「萬歳」から「漫才」へ

—「漫才」なる語は如何にして受容されたか

神保 明洋

芸能史の書棚

植木朝子著『虫たちの日本中世史 『梁塵秘抄』からの風景』

辻 浩和

紹介

放生津八幡宮祭 曳山行事・築山行事総合調査報告書

吉村 旭輝

重田みち編『宮増小鼓伝書の資料と研究—室町文化横断研究のために』

(三竿)

横井清『都忘れの京語り』

(西村)

例会発表要旨

『六義』の成立からみた世阿弥と禅竹 2021年9月例会

天野 文雄

新出・宝暦名女川本に見る鶯流稀曲の伝承 2021年10月例会

稲田 秀雄

平安時代の十列について 2021年11月例会

近藤 公子

◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇922 (92-2) 2022.2 A5 34p 918円

笏谷石製狛犬の名称をめぐる(上)

山下 立

宇治興聖寺の庭園空間と管理指図に関する研究(7)

—『興聖寺作木并掃除覚帳』の分析から

尾崎 洋之

狛坂磨崖仏について(3)

山根 祥司

第四十四回総会報告

◇923 (92-3) 2022.3 A5 34p 918円

画論研究(3) 『画筌』の研究—現代語訳付(1)

寺本 健三

笏谷石製狛犬の名称をめぐる(下)

山下 立

九州の石塔調査報告 6. 筒野南無阿弥陀佛自然石塔婆

佐藤 誠

第1092回例会 醍醐寺(下醍醐)の文化財を訪ねる

吉村 龍二

令和三年度例会活動記録

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431

年3000円 2002年創刊 <https://kyotochimei.wixsite.com/kyotochimie/>

◇76 2022.3 A4 8p

第57回地名フォーラム 研究発表 格助詞に着目した地名の要素分解

発表者：初宿成彦氏／講演 近代京都の都市づくりと地名 講演

者：上野裕氏

2022年度総会 20周年記念講演会・祝賀会 ご案内 総会／講演会 I

笹原宏之氏「地名の漢字から読み取れること」、講演会 II 服部英

雄氏「歴史と考古学」

地名随想

熊本で耳にした自宅の地名

岩田 貢

小野小町伝承と地名(1) 京丹後市五十河小野坂

明川 忠夫

平安京を偲ぶ町名(1) 近衛町

上京区室町通下長者下ル／上京区油小路通出水下ル

清水 弘氏

情報提供 椿井文書(椿井万次郎旧蔵)緊急買い取り募金について

田辺 英夫

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊

<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

◇86 (29-3) 2022.3 A4 4p

年度末のご挨拶—リニールに向けて

吾郷 眞一

ボランティアガイドコラム デジタル平和講話「戦争と平和 子ども

たちへ伝えたい!」の制作にあたって

小野 房子

学生スタッフ 活動記録 ワークショップ担当学生スタッフ編

清川 綾乃

特別展実施報告「世界報道写真展2021—WORLD PRESS PHOTO21」

田島 募

遊心雑記 王希奇画伯作『一九四六』神戸展のこと

安斎 育郎

すごろくゲーム 平和 Lab.～戦争がなければ平和なの?～ 完成!

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇410 2022.2 B5 12p

史料紹介 佐野と油屋藤兵衛家の成立(上)

井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(18)

二山 和美

史料紹介 泉州の地誌(13)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(13)

◇411 2022.3 B5 12p

立石垂頼念典が生きた時代と人々(12)

第五章 立石家譜を読む(続) 四、玉木正英と神道勉学の日々

立石 元

史料紹介 山本家文書 佐野と油屋藤兵衛家の成立(下)

井田 寿邦

現代語訳「食家と佐野と海」(19)

二山 和美

史料紹介 泉州の地誌(14)

藤田家文書「郷中村々高家数竈数人数寺社数帳」(14)

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所

〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333

1980年創刊 http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=871

◇92 2021.7 A5 112p 700円

大阪市立図書館 一区一館への道のり

宮田 英二

楠葉の「山師」—河内楠葉村中井家と秋田藩・幕府・大坂

窪田 頌

史料紹介 「摂州大坂之内 野畑改帳写」

—玉造の吉右衛門肝煎地の土地台帳

野高 宏之

みおつくし 残念さん

白杉 一葉

新刊図書紹介 小山田康徳編著『旧真田山陸軍墓地、墓標との対話』、

森田敏彦著『兵士の碑 近代大阪の民衆と戦争』

小田 直寿

付録 大阪市立図書館 年表

市史編纂日誌 令和3年(2021)1月～4月

表紙 東住吉図書館(のち平野図書館)での読み聞かせ風景(昭和47年頃)(大阪市立中央図書館蔵)

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊

<http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~minshusi/>

◇74 2022.2 A5 110p 1000円

表紙絵 「ろうそくの炎」 鉛筆による現代美術作家 北藪和 (Waa)

京都府丹後地域における地域社会運動の水脈

——九五〇年代・竹野郡弥栄村の青年たち

富山 仁貴

水平社結成百年

久保 在久

吹田のご当地遊び「火水木」をめぐる人と町のあゆみ

——親たちの運動と自治体の施策に着目して

福田 耕

米陸軍「墓地登録部隊」による米搭乗員捕虜処刑者の埋葬地発掘報告

——G H Q法務局捜査課による「大阪憲兵隊事件」起訴証拠資料から

林 耕二

表紙絵と文 「ろうそくの炎」

北藪和 (Waa)

グラビア 渡辺武さん案内による大阪城フィールドワークと大坂夏の

陣図屏風

写真と文・編集部

『大阪民衆史研究』投稿規定／『大阪民衆史研究』執筆要領

会員の編著書 後藤正人著『近世・維新期の民衆と法—東九州を中心

に』(文理閣)、山内英正・富田敏子編著『万葉集を歩く』(平凡社)、

山見元恒人・芦田文夫・井手啓二・大西宏・聴濤弘共著『中国と社

会主義か』(かもがわ出版)、戸崎曾太郎・田中隆夫共著『続 暴圧

に抗して』(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟兵庫県本部発行)



* 内容説明は、本誌「地方史情報155」末尾の「後記」を参照。

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-

1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇447 (39-1) 2022.1 B5 8p

令和四年 年頭所感「新年のご挨拶」

片倉 穰

令和3年12月例会報告(第409回) 『村山等安の台湾遠征』—ある戦国

「武将」一家の悲劇 大阪歴史懇談会会長 片倉穰氏

(報告・寺井)

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『東寺・東寺文
書の研究』 上島有 思文閣出版、網野前彦著作集 第二巻『中世
東寺と東寺領荘園』 網野善彦 岩波書店、『東寺の謎』 巨大伽藍に
秘められた空海の意図 三浦俊良(祥伝社黄金文庫)、アート・ビギ
ナーズ・コレクション『もっと知りたい東寺の仏たち』 根立研
介・新見康子 東京美術

◇448 (39-2) 2022.2 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(69) 産湯稲荷

和久 敦也

令和4年1月例会報告(第410回) 『寛容なる日本人論』—高丘親王を中心に

大阪歴史懇談会会長 片倉穰氏

(報告・井川)

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『寿永・元暦の
合戦と英雄像』 渡辺達郎 冬至書房、『平氏が語る源平争乱』(歴
史文化ライブラリー) 永井晋 吉川弘文館、『源平合戦・戦場の教
訓』 勝者と敗者、何が明暗を分けたのか 柘植久慶 P H P 研究所、
『東国武士政権』 日記「玉葉」が捉えた鎌倉幕府の展開と、悲劇の
武士たち 安達忠人 批評社

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇86 2022.3 A5 96p

《「大塩平八郎終焉の地」碑 移転特集号》

巻頭カラー 「大塩平八郎終焉の地」碑 移転関連写真

「大塩平八郎終焉の地」碑の移設にご支援をいただきありがとうございます
いました

藪田 貫

大塩平八郎終焉の地碑完成のあゆみ—建築運動の経過報告(再録)

井形 正寿

解説 大塩平八郎終焉の地について(再録)

井形 正寿

「大塩平八郎終焉の地」碑 移設の経過報告

それぞれの最期—大塩平八郎と同志たち

藪田 貫

ひとことメッセージ

この人に聞く

大阪市西区靱連合振興町会会長・道上武男氏

聞き手 藪田貫・内田正雄・山崎弘義

(株)石清社長・瀧仲敬氏
「大塩平八郎終焉の地」碑 移設募金御芳名録
終焉の地碑移設募金収支報告
終焉の地碑移転によせて

聞き手 松浦信輝

澤村宗一／大西ひろゆき／内田正雄／一瀬雅子／土井裕子／松浦信輝
資料翻刻 大塩の乱関係資料を読むテキスト「鳶田捨札之写」
大塩の乱関係資料を読む会
洗心洞通信(74) 松本充弘／内田正雄

◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇76 2022.3 A4 8p

表紙 国宝孝恩寺観音堂の現況(令和4年1月撮影)

国宝孝恩寺観音堂 令和の大修理(5)

貝塚市郷土資料展示室特別展「国宝孝恩寺観音堂(釘無堂) 令和の大修理Ⅱ」／令和3年度貝塚市郷土資料展示室特別展図録「国宝孝恩寺観音堂(釘無堂) 令和の大修理Ⅱ」刊行のお知らせ

貝塚市郷土資料展示室企画展「貝塚八城めぐりー守護代・根来寺・雑賀衆・百姓の城」関連行事 第122回かいづか歴史文化セミナー
講演会「千石堀城跡と和泉国の城館跡調査」／第123回かいづか歴史文化セミナー 現地見学会「天正13年貝塚の戦争ー三つの城跡を見に行こう」

小学校・幼稚園巡回展示「東京2020オリンピック聖火リレー トーチ」
／東京2020オリンピック聖火リレー トーチー貝塚市歴史展示会の展示資料から(5)

まちの駅かいづか「貝塚の民話」絵本原画展を開催しました／教育力向上研修を開催ー学校教育に文化財活用の取り組みを図る
古文書講座ー市内に残る身近な古文書 庄屋日記に見る農事暦と年中行事／地域の歴史を検証(1) 岸和田城天守閣が落雷により焼失

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇868 2022.3 A4 10p 300円

高槻市の史跡をめぐるー安満遺跡・今城塚古墳・高槻城跡
ゴーランドが歩いた古墳時代の箕面街道

内田 真雄
一瀬 和夫

大和文華館 特別企画展案内「東アジア文人の肖像—書画と文房具」

◇869 2022.4 A4 8p 300円

興福寺のみとほけをめぐる

戸花亜利州

金剛寺と観心寺—奥河内のふところに国宝仏をめぐる

米屋 優

◆近畿民俗 近畿民俗学会

〒569-0055高槻市西冠2-5-5 伊藤廣之方 年5000円 1949年創刊

◇188 2022.3 A5 128p

追悼文 赤田光男名誉教授と宗教民俗学

大森 恵子

福岡県下における近親婚伝承と佐與姫・佐世姫・佐夜姫・佐野姫と称

する祖神(前)

近藤 直也

民俗文化・古武道の伝承活動における教歌の検討

—宝蔵院流槍術の歌伝書を事例として

前田繁則／小寺直樹／平野恭平

小島勝治による統計と民俗学の融合の試み

—『布施町誌続編』の分析を通して

伊藤 廣之

雑感 近郊農村の新住民と地域文化—宝塚市西谷地区の事例から

白石 太良

資料紹介

近世中後期の日吉社神事能番組

池田 晶

小島勝治資料 河内の職人調査

伊藤 廣之

鹿谷勲著『茶粥・茶飯・奈良茶碗—全国に伝播した「奈良茶」の秘
密』

大森 恵子

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

<http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

◇106 2022.3 A5 64p 1500円

巻頭言 皇祖神の交替はあったのか

河越 尚司

二つの「石川」をめぐって

渡里 恒信

アンデス通信(59)

ワリは帝国だったのか?—カフマン=ドイグ博士の仮説

市木 尚利

古語ミツナカシハ(御綱柏)について—旧稿の再興 I

尾関 章

へそまがり「反省」考

山下 輝幸

『古代史の海』発足の経緯

河越 尚司

一光三尊像のルーツについての一考察(6)

第五節 一光三尊像発生の倭国への伝播経路の推定

山下 輝幸

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇638 2022.2 B5 28p

伊賀 丸山城・上野城を訪ねる(3月・第701回例会)

1月・第699回例会(総会)の報告

1月・第699回例会午後の部の報告

大阪市立西区史跡めぐり 案内幹事：藤岡秀典
編集部より

報告・藤岡秀典

愛媛の海城―来島城と甘崎城

横田 圭祐

鳥取県の尾高城を訪ねて

坂本 昇

◇639 2022.3 B5 22p

播磨 熊野城・熊野古城を訪ねる(4月・第702回例会)

多武峰城塞群を訪ねて

二瓶 久美

山口県下関市 櫛崎城跡と勝山御殿を訪ねて

宮島 茂

香川県の城跡を訪ねて(1)

坂本 昇

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>

◇406 2022.3 B5 18p

天武朝の歴史編纂と『古事記』『日本書紀』

生田 敦司

古代人のDNA

石倉 一郎

古市古墳群を訪ねて

加藤 豊子

半島史料・資料から古墳時代を考える(2)

海を渡った稀有な鉄釜(鍔)

柳本 照男

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科

古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇290 2022.2 A5 109p 900円

口絵 わたしたちの文化財 菅原遺跡発掘調査の概要／大仙陵古墳の
発掘調査学報告

日露戦争以前における朝鮮半島内日本電信網の構築と運用

望月 みわ

調庸輸送隊の変遷と展開

田中 昇一

わたしたちの文化財 菅原遺跡発掘調査の概要

村田裕介／佐藤聖聖

地域の歴史を守り伝える 徳島の古文書を読む会	石尾 和仁
書評 鈴木哲雄著『日本中世の村と百姓』	永野 弘明
大仙陵(大山・大仙)古墳(現仁徳天皇陵)の発掘調査見学報告	山田 暁
渋谷向山古墳(景行天皇陵)保全整備工事の立会報告	山田 暁
第六〇回近世史サマーセミナーの記録	近世史サマーセミナー実行委員会
はじめに	綱澤 広貴
文化会Ⅰ	
鷹場・環境 飯場大輔「近世鷹場における鶴の飼付」	藤井 滉良
交通・墓制 中谷真悠香「江戸幕府道中奉行の職掌に関する一考察—近世後期の問答集の検討から」	心光 康子
医療・身分 中村友紀「近世後期の中津藩中津町における医師と「医師仲々間」の活動」	中本 晴子
支配・海事 糸川風太「近世前期幕府海上御用の特質—小堀政一と讃岐国塩飽年寄衆を対象として」	森 健人
大名・藩 安岡達仁「国元の隠居大名と江戸の政治社会—山内忠義の場合を中心に」	田中 琢登
栗原正東「近世中後期における入峯行為と地域的対応—葛城修験在地別当の動向を中心に」	山村 陽仁
文化会Ⅱ	
思想・地域 石井七海「近世後期の東上総地域における儒学受容の一例—稲葉黙斎・鈴木養斎の比較から」	滝澤 和湖
天皇・朝廷 細谷篤志「実務レベルからの近世朝廷研究の可能性—一口向役人を素材に」	小野 遼樹
浦支配・ジェンダー 川邊あさひ「近世瀬戸内の遊所と遊女」	中原 寛貴
民衆運動・書物 鈴木凜「近世後期における義民像の展開—「佐倉惣五郎」を中心に」	黒滝 香奈
幕末・軍制 政次加奈子「戊辰戦争期における農兵の軍事動員—岡山藩農兵隊を事例に」	大沼 大晟
宗教・神社 大城友莉奈「出雲大社の寛文度造替における仏教要素の排除について」	ルーベックイアン栄
委員会報告 第3回／第4回	吉武 直哉
会の活動20周年記念事業完遂に向け支援者の皆様に寄付金のお願い	
旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会理事長	小田康德

◆枚方市史年報 枚方市教育委員会文化財課市史資料室

〒573-1159枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154

1996年創刊

◇24 2022.3 B5 48p

枚方市内の中・近世石造物の石種と石材の産地 奥田 尚
二式高射瞬曳信管大薬盤と未完成・金属塊—『禁野本町遺跡Ⅶ』補遺 駒井 正明
楠葉村南組中井家の榎並筋治水と江戸幕府
—黒正文庫「榎並一件」をめぐる 窪田 頌

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502東大阪市小若江3-4-1 TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇33 2021.12 A4 263p

表紙・口絵写真 渡辺良正の撮った春日若宮おん祭
写真・渡辺良正／解説・林公子

近畿の民俗・文化

やまと・まほろば・薨紀行

—奈良盆地南半の鬼瓦からわかること 第三部 大脇 潔
粉河村安養寺離末の問題に関する史料

二〇二〇年度演習ⅠA受講生／新谷和之

タブ粉の歴史と民俗—線香粘結剤に関する民俗知・製造・流通 藤井 弘章
和歌山県すさみ町の線香水車を中心に 山下 桃子

北陸の民俗・文化

中世後期における越前北部の軍事情勢と長崎称念寺 新谷 和之
娼妓の住み替えをめぐる一考察—娼妓の手紙から 人見佐知子

東アジアの民俗・文化

トンキンの日本人娼館

—トンキン理事長官府第九号機密書簡をめぐる 鈴木 伸二
ラオスの筌に関する物質文化的研究

—日本民俗学との架橋に向けた一試論 辻貴志／広田勲
書評と紹介 野本寛一著『採集民俗論』 辻 貴志

大東市所蔵の田舟の調査

網伸也／月僧亮我／永田大樹／森山達天喜／佐々木拓哉／李聖子

兵 庫 県

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyoug2.xrea.com>

◇79 2022.2 B5 8p

丸山浩一名誉会長の訃報

馬原 浩一

家系研究小ネタ特集 第5回

北条時政後妻の「牧の方」の系譜について

(馬原)

家研協たより 会員情報 訃報 丸山浩一名誉会長、会員の出版情報

宝賀寿男会長 古代氏族の研究シリーズ第18弾『鴨氏・服部氏 少彦名神の後裔諸族』

書評 『三好一族 戦国最初の「天下人」』 天野忠孝著

(馬原)

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会

岡村隆弘方

◇21 2022.2 A4 12p

第50回神戸空襲合同慰霊祭／戦後76年神戸空襲を記録する会 講演会

神戸の戦争孤児の記録を残すために／第19回神戸空襲を記録する

会 戦跡ウォーキング

前代表中田政子さん逝く

(無題)

岡村 隆弘

(無題)

光森 史孝

そして、バトンはつながれ…

玉井 洋子

(無題)

宮沢 之祐

中田政子さま

米倉 澄子

中田政子さんの思い出

富士 繁一

内橋克人さん 逝く

小城 智子

神戸空襲を記録する会の「戦災アーカイブコレクション」の構築に向

けて／第51回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 東京大会 オンライン

◆神戸史談 神戸史談会

〒653-0885神戸市長田区堀切町8-8 北井正昭方 TEL078-631-5995

年3000円 1926年創刊

◇319 2022.1 A5 78p

表紙のしおり 君恩万倍深「きみのご恩は万倍も限りなく 海よりも

深く山よりも高い」

画・小阪美道

森鷗外の遺言と神道の死生観「石見人森林太郎トシテ死セント欲ス」加藤 隆久

復刻(会誌92号 昭和3年5月発刊) 大國隆正翁傳

神戸事件と滝善三郎

須田 京介

和田岬線の歴史 産業技術史・郷土史調査	藤原 英信
淡路島の方言	小阪 美道
白瀬南極探検隊を支えた仏教と神道	
白瀬は真宗寺長男、事務長は生田神社主典	加藤 隆久
令和3年4月例会「諏訪山物語講演」要約	
諏訪山物語～諏訪山から見た神戸の近現代（講演記録要約）	楠本 利夫
令和3年7月例会概要 我が国の戦後高度経済成長期のスタートは神戸であった 川崎製鉄初代社長西山弥太郎にその源泉を探る	吉田 昭彦
令和3年10月例会概要	
江戸時代探訪～二六〇年の平和の時代をどう捉えるか	神神木哲男
叙勲者の紹介 小阪美道氏／お知らせ 神道への深い造詣著す 生田神社名誉宮司・加藤隆久さん（産経新聞 令和3年10月4日（月））	
雑 感	佐藤憲太郎

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要

〒660-0825尼崎市南城内10-2 尼崎市立歴史博物館 地域研究史料室（あまがさきアーカイブズ） TEL06-6482-5246 1971年創刊
<http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp>

◇121 2022.2 A5 198p

グラビア 立花楼絵はがき 酒見泉金堂製 田中千尋氏寄贈

天正14年の豊臣秀吉朱印状 楞野 一裕

中国路と寛文期の尼崎城下町改造 室谷 公一

明治俳諧資料の分類と事例紹介『追悼発句集投句案内』・句集『蓮の

臺』・『祖翁二百年追祭発句集募集広告』 村上 昭彦

2020年園田学園女子大学「歴史と文化」シンポジウム「地域歴史遺産

の「保存」と「活用」―博物館・公文書館の役割」

開催趣旨 大江 篤

基調報告

地域歴史遺産の保存と活用―兵庫県立歴史博物館に即して 藪田 貫

シンポジウム ディスカッション 稲村和美／市沢哲／大江篤／藪田貫

史 煙

公手博さん・羽間美智子さんの思い出 田中 實

古文書講師の公手博さん 郷土史編集者の羽間さん 宮崎 恭子

あまがさきアーカイブズ通信

「常吉村文書の整理―古文書整理ボランティア」のその後 松本 望

あまがさきアーカイブズの庁内利用

一職員育成研修からまちづくり連携へ 吉川真理子
 史料編 尼崎の古代・中世一史料と研究(8)
 尼崎市史古代・中世史料補遺(8) 尼崎市立歴史博物館地域研究史料室
 史料紹介 尼崎市役所『最近四年間ノ事績 附将来ノ諸問題』一九二
 八年(昭和三)一(前半) 森本 米紀
 あまおぶね(5) 旧生島荘内の石造品 田中 敦

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321
<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>
 ◇648 2022.3 B5 8p
 4月行事 令和四年度定例総会・記念講演会 記念講演会「近世西宮
 の文化を育んだ商工業」講師：前西宮文化協会会長 山下忠男氏
 雅楽と能 森村 暁子
 浮世絵版画一西宮の風景あれこれ(3) 西宮市夙川公園こほろぎ橋 布広 良雄
 1月行事 白鹿記念酒造博物館「堀内ゑびすコレクション展」見学会
 を開催 西宮文化協会事務局
 令和3年度 会報総目次
 会員活動報告 『防災川柳コンクール』で全国入選 中村 宏

◆LINK 地域・大学・文化

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 TEL078-803-5566 2009年創刊
<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/>
 ◇13 2021.12 B5 158p
 特集 歴史研究の隣人たち インタビュー・シリーズ2
 特集にあたって 編集委員会(文責・木村修二)
 第Ⅰ部 新書編集者 山崎比呂志さん
 インタビューへのまえがき 古市 晃
 インタビュー
 インタビューに参加して 小山 啓子
 第Ⅱ部 一級建築士 やまだのりこさん
 生活知と専門知が交差するところ 市沢 哲
 インタビュー
 インタビュー参加記 井上 舞
 二つのインタビューに寄せて 村井 良介

近世後期金銭貸借訴訟をめぐる旗本屋形池田家と領外商人 ―播磨国神西郡森垣村龍野屋伊兵衛長英の活動を中心に フィールドレポート	室山 京子
「猪名川の古文書を楽しむ」の活動について 資料保全活動から生まれた博物館 ―とみおかアーカイブ・ミュージアム	大下 朋子
LINKを読む	門馬 健
地域歴史遺産と日本中世地域史 小特集「襖・屏風下張り文書の保全と活用」を読んで 時評・書評・展示評	廣田 浩治
書評：『口吉川の歴史』（新三木市史地域編6） 兵庫県立考古博物館夏季企画展「淡路島発掘」を観て 活動報告	内田 俊秀
サンテレビ震災報道映像の公開 オンラインを利用した古文書初級講座 人文科学科古文書室架蔵文書群の紹介(10)	本井優太郎
	桐島 和太
	佐々木和子
	河島裕子／横山朋子
	木村 修二

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊

◇350 (61-1) 2022.2 A5 48p 600円

《特集 摂津・播磨史の通説に挑む》

「河合隼之助研究ノート」1 改革五年目の総括文書「新御積訳書」 知られざる書写山別院・定額寺とその所在地 明治元年発行の尼崎紙幣局銭札―尼崎藩と生魚問屋碇屋との約定から	藤原 龍雄
	山本 邦昭
谷文晁の「笠置山」について―笠形山説の立証 村上帝社と藤原師長一琵琶の名手の数奇な生涯 神戸史談会 2021年度会計報告 新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2014年11月8日～26日)	岸添 和義
	柴田 昭彦
	渋谷 武弘
	増田 行雄
	大国正美／有吉康徳

奈良県

◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇26 2022.3 A5 77p

谷三山の思想形成に関する研究ノート	吉田栄治郎
史料紹介 森田節斎墓誌銘の依頼をめぐって一中尾靖軒とその周辺	奥本 武裕
近世大和国田原郷に往来した被差別民衆と無足人山本氏	竹中 緑
講演録 聖徳太子 過去と現在をつなぐ	西山 厚

島 根 県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966
年2500円 1974年創刊

◇210 2022.3 B5 44p

《特集 出雲日御碕灯台の重要文化財指定を祝す》

出雲日御碕灯台の重要文化財指定について 出雲市文化財課

平成二十五年に百十歳を迎える出雲日御碕灯台(1)

再掲 本誌163号(平成22年6月) 阿部 和男

平成二十五年に百十歳を迎える出雲日御碕灯台(2)

再掲 本誌164号(平成22年9月) 阿部 和男

予告 次号より誌上「古文書講座」をはじめます！ 出雲市文化財課

平成二十五年に百十歳を迎える出雲日御碕灯台(3)

再掲 本誌165号(平成22年12月) 阿部 和男

平成二十五年に百十歳を迎える出雲日御碕灯台(4)

再掲 本誌166号(平成23年9月) 阿部 和男

春季企画展「てんじんムラの歴史一天神遺跡と周辺の調査から」

出雲弥生の森博物館(文責・高橋周)

企画展「出雲と都を結ぶ道一古代山陰道」 島根県立古代出雲歴史博物館

「大社の史話」目次集 第201号～第210号 編集部

令和3(2021)年10月～12月 出雲市大社町年表 編集部

表紙写真 夕暮れの出雲日御碕灯台(大社町美術協会写真部 中山一郎氏提供)

広 島 県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522東広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊 <http://hiroshima-u.ac.jp/geishi/>

◇319 2022.3 A5 112p 600円

《特集 宮本常一と芸備地方》

特集「宮本常一と芸備地方」にあたって

「郷土研究」の継承—宮本常一と芸備地方史研究会

高木 泰伸

宮本常一の写真を読む

宮本写真からみる広島服飾史

正本真理子

—昭和初期から太平洋戦争後の衣生活観

岡崎 環

宮本常一写真を読む—宮島調査の頃

林 良司

宮本常一と尾道をあるく・みる・きく

市川 裕士

宮本常一が撮影した芸予諸島の漁業集落

八幡 浩二

宮本常一がみた潮待ちの港・鞆の浦

齋藤 拓海

宮本常一が見た可部線沿線

宮本常一資料の活用—展示企画顛末記

企画展示「宮本常一、旅と鉄道—山陽本線・呉線付近—」から見え

徳毛 敦洋

たもの

みはら民俗学事始・鮎本刀良意展～旅する巨人・宮本常一に導かれ

荻野 愛子

て

史跡をあるく 瀬野機関区跡

文・写真 鴨頭俊宏

芸備地方史研究	
目 次	
特集 宮本常一と芸備地方	
別掲「宮本常一と芸備地方」にあたって	高木 泰伸 (1)
「郷土研究」の継承—宮本常一と芸備地方史研究会	高木 泰伸 (2)
宮本常一の写真を読む	
宮本常一からみる広島服飾史	正本真理子 (10)
—昭和初期から太平洋戦争後の衣生活観	
宮本常一写真を読む—宮島調査の頃	岡崎 環 (27)
宮本常一と尾道をあるく・みる・きく	林 良司 (35)
宮本常一が撮影した芸予諸島の漁業集落	市川 裕士 (51)
宮本常一がみた潮待ちの港・鞆の浦	八幡 浩二 (59)
宮本常一が見た可部線沿線	齋藤 拓海 (67)
宮本常一資料の活用—展示企画顛末記	
企画展示「宮本常一、旅と鉄道—山陽本線・呉線付近—」から見えたもの	徳毛 敦洋 (85)
みはら民俗学事始・鮎本刀良意展～旅する巨人・宮本常一に導かれて	荻野 愛子 (95)
史跡をあるく 瀬野機関区跡	文・写真 鴨頭俊宏 (105)
後 記	
芸備地方史研究会の活動と未来について	112
付 録	
付録1 芸備地方史研究会の活動と未来について	113
付録2 芸備地方史研究会の活動と未来について	114

* 民俗学者宮本常一の大きな研究業績の一つに、日本全国津々浦々を歩き自ら撮影した膨大な民俗写真資料の存在がある。それらは、宮本の郷里山口県大島郡周防大島町の宮本常一記念館(周防大島文化交流センター)に保存され、公開されている。

本特集は芸備地方史研究会が宮本常一記念館の協力のもとで行った、広島県下で撮影された写真を、昭和前期から戦後期の服飾史、宮島、尾道、芸予諸島の漁業集落、潮待ちの港鞆の浦、国鉄可部線沿線といった地域や民衆生活の視点で読

み解いた総合研究である。さらに、企画展示「宮本常一、旅と鉄道—山陽本線・呉線付近」と「みはら民俗学事始・鮭本刀良意展」開催の経過から、宮本常一資料活用のあらましも記されている。

宮本が集積した写真や資料に基づく、このような研究や企画展開催の可能性は無限であるように感じられる。本特集が刺激になって、全国に広がっていったらと思う。

◆備陽史研究 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 Tel084-953-6157 1982年創刊

<http://bingo-history.net>

◇28 2022.2 A4 78p

『備陽史研究』第28号の発刊にあたって

田口 義之

備後宮上野介家の盛衰

田口 義之

正戸山城と穴の海—守護の城としての正戸山城

瀬良 泰三

正戸山城と勝戸城の疑問

坂本 敏夫

山手銀山城跡測量調査報告

杉本 憲宏

遺稿 遍路雑考

根岸 尚克

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 Tel084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇222 2022.3 A4 20p

備後国衆列伝(10) 神石郡の上村氏

田口 義之

小林悠一のかたん古文書講座 第8回

紙上討論 福山築城前の芦田川流路

瀬良 泰三

史料紹介 井上家文書「乍恐以書付奉申上候御事」／古文書解読会は

本年度から部会になります。

古文書解読会

研究レポート 福山城と切岸Ⅰ—切岸と石垣

瀬良 泰三

1枚の写真から 今津川の鉄橋

岡田宏一郎

郷土探訪 講話橋について

岡田宏一郎

近世福山の歴史講座(38)

第三部 水野時代総集編—その二 初代勝成の時

高木 康彦

『日本書紀』の吉備国 八、新鉄の道

若林 啓文

事務局便り 創立40周年記念事業の報告

備陽史探訪の会NEWS 学ぶ 私たちの福山城 「中国新聞」新春地

方版特集 2022年(令和4年)1月1日(土)／福山城外観復元 市に10

万円寄付 備陽史探訪の会 「山陽新聞」備後版 2021年(令和3年)

11月10日(水)

ワンショット・レポート～ぶら探訪68・梶島山を歩く
田口義之の備後山城50選(48) 江田氏の端城 高杉城

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇372 2022.3 B5 12p

今月の各地 閑話	大坪 一夫
春のハイキング「木ノ浜・新倉めぐり」のご案内	西村 雅幸
昭和22年の天皇行幸(4)	西村 雅幸
日本の牛と馬、交通の歴史(21) 第4章 騎行と車行の歴史	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(後期)(2)―平成30年～令和2年の取組	行長 啓三

◇373 2022.4 B5 12p

今月の各地 野生動物との共存(2)	
～国づくりにおける野生動物対策	行長 啓三
昭和22年の天皇行幸(5)	西村 雅幸
日本の牛と馬、交通の歴史(22)	
第4章 騎行と車行の歴史 3. 日本の騎馬の歴史(つづき)	三好 邦範
三原市のカワウ対策 第2報(後期)(3)―平成30年～令和2年の取組	行長 啓三

愛媛県

◆四国遍路と世界の巡礼

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577松山市文京町3 TEL089-927-9312 2016年創刊

<https://henro.l1.ehime-u.ac.jp>

◇7 2022.3 A4 66p

伊予国分寺と脇屋義助廟一札所と史蹟	村上 紀夫
四国遍路と白山信仰―「菅生寺」の分析を中心として	村上由実子
四国遍路の札所における大師堂	松岡 明子
ハワイからの四国遍路巡拝団の歴史	モートン常慈
世界の人々が歩く理由―遍路道の小さなゲストハウスから	鷲野 陽子
アショーク王の巡礼譚にみるインド仏教の巡礼	
―仏典に描かれる巡礼とその実際	岡田 英作

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇249 2022.3 B5 8p

3月定例会レジメ ネフスキー「宮古方言ノート」の内容について 下地 和宏

1月定例会のまとめ 長墓遺跡のDNA分析 久貝 弥嗣

2月定例会のまとめ 海の帝国琉球と宮古

宮古島市歴史文化資料館企画展

著書紹介 上地洋子・米寿記念『平和の風』 下地 和宏

第38回企画展「令和二年度新収蔵品展」の紹介 宮古島市総合博物館

與那覇史香

宮古芋績み保存会『第十二回 芋麻糸展示会』

小祿 裕子

上地慶彦著「ニャーツ方言 標準語引き」

仲宗根將二

◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567

◇26 2022.3 B5 384p

みやこ祭祀の類型化の試み(続)

—『宮古島市史』第二巻 祭祀編(上)(中)(下)による

長濱 幸男

宮古島の年間祭祀—みやこの祭祀(下巻)

長濱幸男／下地博盛／下地和宏／兼島朋子／松川知恵

地域資源をもとにした「ふるさと理解」の研究

—230年の伝統行事ミャークヅツを中心に

川上 哲也

宮古・池間島のカツオ産業文化誌(4)

—2つのぎょしょく「魚職」・「魚飾」による検討

若林 良和

宮古島の断層地帯と将来の地震長期評価(長期予知)について

安知屋 昭

謎の「与那原ばら軍(いうさ)」について

下地 和宏

宮古・地下ダムの先駆者たち～地下ダムが完成するまで

池城 直

古代日本語助詞と琉球宮古島方言助詞の比較研究

国語の助詞「の」・「が」と方言助詞「nu」「ga」の用法を中心に

島尻 澤一

八重干瀬(やびじ)の形状の琉球国絵図(正保)における表現

我那覇 念

宮古島と来間島における湧水と井戸水の標高及び湧水量と硝酸性窒素

濃度の関係

渡久山 章

宮古島市久松地区の生き物方言名集

川上 勲

宮古島佐良浜の年中祭祀－祭祀と供物	上原 孝三
伊良部島入江水道マングローブ域におけるキバウミニナ(軟体動物門： 腹足綱：キバウミニナ科)の生息状況	藤田 喜久
宮古島および多良間島に漂着した軽石におけるカルエボシの付着状況	藤田 喜久
特攻艇イメージ画パネル制作について	與那覇史香
宮古島市総合博物館制作紙芝居『よしくんの少年時代』	久貝かおり
宮古圏域の「著書・論考」をたずねて 第一部 歴史と民族／第二部 文芸と芸能／第三部 組織の動向／第四部 人	仲宗根將二
多良間村ふるさと民俗学習館で展示している「過渡期辞令書」四点は 誰のもの	金城 善
『貢反布沿革調』について	平良 勝保

寄贈図書紹介

◆常陸坊海尊の再誕

三田加奈著 みちのく民芸企画（〒024-0051 岩手県北上市相去町旧館沢43-6
TEL0197-62-7222）2022年2月 A5 307頁 2200円＋税
「高館合戦」を前に義経主従から離脱した常陸坊海尊のその後の行方を、さまざま
な書物や資料を探り、東北各地のフィールドを訪ねて追跡する。まがき／Ⅰ
常陸坊海尊伝説の諸相（海尊仙人像の形成、海尊 白石翁と「仙人の碁」、修
験と儒学者の海尊伝説、変貌する海尊像）／Ⅱ『清悦物語』の展開（「仙北治朗
物語」の語り手、「高館合戦」における津波、『清悦物語』緒本の系統）／Ⅲ『鬼
三太残齡記』の地域性（『鬼三太残齡記』と会津街道、『鬼三太残齡記』の人物群）
／Ⅳ 語り物と昔話の交渉（『正法寺開山記』と奥浄瑠璃）、昔話「幽霊女房」と
通幻／資料翻刻『駿河清重 伊達紙子笈捨松』（国立国会図書館蔵）／あとがき／
初出一覧／索引

◆手作り3・11通信抄録集（2011.4～2019.11）

ーロクはやがて消えさるオクを伝える 文字の力を信じて
本田義幾編（〒989-6156 宮城県大崎市古川西館3-4-35）2021年9月 A4横 160
頁 非番品
道鏡を守る会代表を務める編者が東日本大震災直後から被災地を訪ね、各地の状
況を綴った「3・11通信」をまとめた総集編。はじめに／東日本いまこそ力を
（萩原憲司）／Ⅰ 岩手・福島をまわる／Ⅱ 宮城をまわる／Ⅲ 津波裁判傍聴／
Ⅳ 放射能・廃棄物処分／Ⅴ その他／おわりに（本田義幾） 2011.4～11.12「大
地震・大津波・原発事故」、2012.1～12.8「3・11 ココ再生へ」、2012.8～12.10

「3・11 ココ新生へ」、2012.11～14.9「3・11 ココしん・さい」、2014.12～16.7「3・11後の今」、2016.11～17.11「3・11後の今をたねる」、2018.2～18.6「3・11後の今Ⅱ」、2019.5～19.11「3・11後の今Ⅲ」

◆復刻版 東北民俗 第1～10輯

東北民俗の会編・刊（〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 宗教学研究室 TEL022-795-6022）2021年12月 B5 464頁 会員配布
昭和35年（1960）、東北地方の広域民俗研究を目指して発足した「東北民俗の会」の平成29年度の第52回柳田賞受賞を記念して、会誌『東北民俗』創刊号（昭和41年）から第10輯（昭和51年）までをA5判からB5判に拡大して合本復刻。東北地方の民俗学研究団体として初めての柳田賞受賞となった当会の研究活動の出発点を示すとともに、貴重な民俗資料ともなる復刻版である。東北民俗 第1～10輯総目次／第1輯（昭和41年6月11日）／第2輯（昭和42年5月27日）／第3輯（昭和43年5月25日）／第4輯（昭和44年5月24日）／第5輯（昭和45年5月23日）／第6輯（昭和46年5月22日）／第7輯（昭和47年9月20日）／第8輯（昭和48年5月20日）／第9輯（昭和49年8月20日）／第10輯（昭和51年5月15日）

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録53 県内諸家寄託文書47

福島県文化センター歴史資料課編 福島県文化振興財団（〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193）2022年3月 B5 80頁
昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した収蔵資料目録の53冊目として、令和3年度に整理を終えた1件の文書群の目録を収録する。序（大沼博文）／河越卿家文書（その三）（1231点、大沼郡三島町）（山田英明）

◆茨城県立歴史館史料叢書25 弘道館史料Ⅳ

茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館（〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425）2022年3月 A5 320頁

茨城県立歴史館所蔵史料を紹介する史料叢書第25巻。既刊『茨城県立歴史館史料叢書3 弘道館史料Ⅰ』（2000年3月）、『同6 弘道館史料Ⅱ』（2003年3月）、『同24 弘道館史料Ⅲ』（2021年3月）に続き、茨城県立歴史館所蔵の弘道館に関する史料11点を収録する。解題（永井博・笹目礼子）／（弘道館）学校諸事御用手控 弘化二年／（弘道館）手控 嘉永三年／（弘道館）手控 嘉永四年／（弘道館）手控 嘉永五年／（弘道館）日記 嘉永四年／（弘道館）日記 嘉永六年／（弘道館）日記 安政二年／（弘道館）文館日録 安政四年／（弘道館）文館日録四／（弘道館）日録 明治五年／（弘道館）日録 明治五年／人名索引

◆令和3年 第45回郷土先人展「佐伯安一の軌跡」展示解説パンフレット

砺波市立砺波郷土資料館編・刊（〒939-1382 富山県砺波市花園町1-78 TEL0763-32-2339）2021年10月 A4 8頁

砺波郷土資料館第45回郷土先人展(令和3年10月19日～11月23日)の展示解説パンフレット。民家、古文書、曳山、獅子舞、諸職、五箇山など富山県内の様々な民俗調査に携わった佐伯安一氏(1930～2016)の研修の軌跡をたどる。主な著作／民俗研究の始まり～方言調査／民俗緊急調査と自治体史編纂～佐伯民俗学の広さと深さ／暮らしと住まい 富山県の民家／暮らしと祭り 富山県の獅子舞／暮らしと食 ふるさと料理／砺波平野の新開と散村の展開／民具の収集

◆村誌王滝 歴史編Ⅱ

王滝村誌編纂委員会編・刊(〒397-0201 長野県木曽郡王滝村2857-3 王滝村教育委員会 TEL0264-48-2134) 2022年1月 B5 250頁

2012年に再開した王滝村誌編纂事業の第一巻「自然編」(2017年)、第二巻「歴史編Ⅰ」(2020年)に続き、明治時代から昭和20年(1945)頃までの歴史を数多くの写真・資料とともに通観する。カバー 『長野県西筑摩郡地図』部分(大正11年8月1日発行)／見返し 『御嶽山全図』(明治26年発行)／刊行のことは(瀬戸普)／昔の地区の姿一大正・昭和前半(二子持、崩越・淀地、田島、三沢・中越、東、下条、上条、野口・九蔵、滝越)／歴史編の構成と時代区分／村の位置／第五章 近代国家へ邁進する日本の中の王滝村—明治時代 一八六八年～一九一二年(明治維新と村の動き、戸籍づくりと地租改正、村の自治、明治維新後の村勢、生業と暮らし、王滝学校の創設、御嶽山の恩恵—お山で発展する村、御料林の中の王滝村、第九節 日清・日露戦争と徴兵制—富国強兵下の戦争と村民)／第六章 村の文明開化と戦争の時代—大正から昭和(終戦)まで(村の文明開化、大正デモクラシーの拡大、学校教育の普及、御嶽山登拝と一般登山、林鉄の開通と村民の利便、電源開発と水利権問題、三浦貯水池、御嶽発電所、大戦景気から昭和不況へ、戦時の村、終戦)／王滝村年表／主な参考文献／村誌「王滝」歴史編を書き終えて(神村透)／資料・写真提供者・調査協力者／あとがき(栗空敏之)

◆山の祭りからはじまる物語…

北島新平・宮下和男イルフ童画館ギャラリートーク(2005年1月23日)

飯澤文夫編・注釈(〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町1-30-1 TEL03-3923-6667) 2022年3月 A5 56頁

2005年1月23日に、長野県岡谷市のイルフ童画館で開催中の北島新平絵本原画展に合わせて行われた、童画家・絵本作家の北島新平(1926-2021)と児童文学作家宮下和男(1930-2017)によるギャラリートークの記録に、注釈と参考文献を付したものの。北島は福島県に生まれ、美術科教諭として長野県下伊那郡南信濃村(現飯田市)に赴任、遠山霜月祭りや新野の雪まつりなど三遠信地域の習俗や子どもの遊びをモチーフにした作品を描き、柳田国男の『遠野物語』にも深い関心を寄せた。宮下も郡内で教壇に立ち、伊那谷の歴史や伝承民話風の作品をたくさん書いている。

◆知られざる郷土史3 津とその周辺

浅生悦生編（〒514-2305 三重県津市安濃町清水1008 TEL059-268-2671）2019年10月 A5 362頁

長年にわたり津市をはじめとする三重県の文化財行政に携わり、三重郷土会の常任委員も務める著者のわかりやすい津郷土史『知られざる郷土史』（2017年6月）、『続 知られざる郷土史』（2019年10月）の続巻。原始から近現代までの津の知られざる歴史について、15年にわたる公民館の郷土史講座・講演や歴史探訪での内容をもとに25編まとめる。はじめに／津のあけぼの一狩人たちの足跡／日本最古の刻書土器発見と、その背景／津にみる渡来系文化／平安の仏さまと経塚の祈り／「聖徳太子」讃仰と今／津のお地蔵さま／阿漕伝説—その実と虚／津にみる入定伝説／幻の木造城／分部氏—戦国乱世を強運で乗り切る／高虎三城を巡る—赤木城・伊賀上野城・津城／久居陣屋と城下／熊野観心十界曼荼羅／津藩の村方（郷方）支配／津藩の町方支配／庚申信仰と津／津藩の無足人／津藩中興明主、藤堂高允／津緞子—將軍家献上のお国名物／津の鋳物師たち／柳梢悦—日本水路測量の父／明治天皇の御巡幸と津／哲学者、紀平正美／香良洲神社の式年遷座、今を見る／「平正」、変わりゆく津の景観／あとがき

◆明治大正大阪市史編纂日誌（下） 大阪市史史料91

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会（〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333）2022年3月 A5 146頁 1800円

『明治大正大阪市史』（全8巻、1933年～1935年）編纂時の編纂事務局が作成した編纂日誌5冊のうち、昭和2年4月30日から昭和4年6月29日までの記事を収録した『明治大正大阪市史編纂日誌（上）』（大阪市史史料90、2021年3月）に続き、昭和4年7月1日から昭和10年4月8日までの記事を収載する。昭和4年度（昭和4年7月、同年8月、同年9月、同年10月、同年11月、同年12月、昭和5年1月、同年2月、同年3月）／昭和5年度（昭和5年4月、同年5月、同年6月、昭和6年1月、同年2月、同年3月）／昭和6年度（昭和6年4月、同年5月、同年6月、同年7月、同年8月、同年9月、同年10月、昭和7年1月、同年2月、同年3月）／昭和7年度（昭和7年4月、同年5月、同年6月、同年7月、同年8月、同年9月、同年10月、同年11月、同年12月、昭和8年1月、同年2月、同年3月）／昭和8年度（昭和8年4月、同年5月、同年6月、同年7月、同年8月、同年9月、同年10月、同年11月、同年12月、昭和9年1月、同年2月、同年3月）／昭和9年度（昭和9年4月、同年5月、同年6月、同年7月、同年8月、同年9月、同年10月、同年11月、同年12月、昭和5年1月、同年2月、同年3月）／昭和十年度（昭和10年4月）／あとがき（尾崎安啓）

◆吉兆と魔除け—怪異学の視点から— 東アジア怪異学会20周年記念展示

東アジア怪異学会（〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1 園田学園女子大学 大江篤研究室内）2021年12月 A4 39頁

2001年4月に発足した東アジア怪異学会の20周年を記念する京都産業大学ギャラリー特別展(2021年2月24日～4月14日)図録。人々が願いや祈りを託した文物を通して、祥瑞災異思想やト占技術など東アジアにおける思想や文化を知る手掛かりとする。ごあいさつ(代表 大江篤)／はじめに 怪異学と「怪異」(大江篤)／第1章 吉兆と祥瑞(佐々木聡)／第2章 白沢からクタペへ(笹方政紀)／第3章 祥瑞と年号(久禮旦雄)／第4章 中国の魔除けとまじない(佐々木聡)／第5章 日本近世の魔除けとまじない(村上紀夫)／第6章 蘇民将来と疫病除け(大江篤)／展示解説／参考文献一覧／東アジア怪異学会記念フォーラム「吉兆と魔除け」(『怪と幽』第7号(角川書店)「研究会レポート：コロナ禍における怪異学と学会設立二〇周年」より抜粋転載)

◆『中外電報』奈良県関係記事Ⅰ 奈良県同和問題関係史料20

奈良県立同和問題関係史料センター編・刊 (〒630-8133 奈良県奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488) 2022年3月 A5 175頁

『京都新聞』の前身である『日出新聞』(明治18年<1885>4月10日創刊、同30年7月1日『京都日出新聞』改題)の奈良県関係記事をまとめた『『日出新聞』奈良県関係記事』Ⅰ～Ⅳ(奈良県同和問題関係史料16～19、2015年3月～2019年3月)に続き、同じ前身紙の『中外電報』(明治17年10月10日『京都滋賀新報』から改題、同25年9月30日廃刊)から、明治19年1月から同21年5月までの奈良県に関する記事を翻刻・収録する。明治19年(1886)／明治20年(1887)／明治21年(1888) 1月／明治21年(1888) 2月／明治21年(1888) 3月／明治21年(1888) 4月／明治21年(1888) 5月／解説

◆卅周年記念誌

大谷和弘・正田公佑・瀬畑雅恵・大坪一夫・金森迪子・水野仁美・西村雅幸・正田哲夫・鈴木健次編 みはら歴史と観光の会 (〒723-0051 広島県三原市宮浦6-9-32 TEL080-6335-9932) 2022年3月 B5 178頁 会員配布

広島県三原市における歴史探訪を中心に、月刊誌『わが町三原』の刊行など地道な活動を続ける「みはら歴史と観光の会」(レキカン)が2021年3月に迎えた創立30周年記念誌。発刊の辞(上田嘉信)／祝辞 祝辞(三原市長 五藤康之)、祝辞(教育長 計田春樹)、祝辞(三原観光協会会長 福島偉人)、会の発展を祝して(沼田文化研究会 福原英雄)／役員・会員からの投稿 心から希求する(宮原孝司)、「レキカン」創立30周年によせて(大谷和弘)、三原歴史の課題(正田公佑)、郷土愛の彩り作戦(瀬畑雅恵)、三十周年に寄せて(大坪一夫)、三原を愛する(行武郁子)、「三原旭陽会」のこと(木川圭三)、レキカンさんと共に(山本公恵)、みはら歴史と観光の会 30周年記念(土居八重子)、橋本先生と歩く 妙正寺～大島神社～宗光寺(文 津島敏子・写真 鈴木健次)、レキカン30周年に思う(桧山幸三)、レキカン膝栗毛で知る・もたない三原(正田哲夫)、レキカン 十の実績

(鈴木健次)／30年間の活動記録(事務局)／研修旅行の記録(事務局)／レキカン主催の講演会(瀬畑雅恵)／「わが町 三原」の記録 輯番号一覧(事務局)、表紙集(事務局)、目次集(事務局)、索引(西村雅幸)／付録 FMみはら「知っている三原」より(鈴木健次)

◆後記

ロシアのウクライナ侵攻による凄惨な行為に、「戦争犯罪」との非難が強まっている。『大阪民衆史研究』第74号(同会 2002.2)に掲載された、林耕二「米陸軍「墓地登録部隊」による米搭乗員捕虜処刑者の埋葬地発掘報告—GHQ 法務局捜査課による「大阪憲兵隊事件」起訴証拠資料から」は、第二次世界大戦末期に、日本本土空襲に飛来した米軍機を撃墜し、捕虜とした搭乗員55名を処刑した「大阪憲兵隊事件」の詳細を明らかにしたものである。捕虜処刑は紛れもなく戦争犯罪である。事件の概要は既に、戦争遺跡に平和を学ぶ京都の会と青森の空襲を記録する会が、GHQ 法務局調査報告や横浜裁判資料調査に基づいて報告しているとのことだが、林氏らはそれらを補完すべく調査チームを結成し、米軍機墜落地点での聞き取り、処刑地調査、米国立公文書館所蔵資料調査を行い、処刑地と埋葬地を特定して、処刑された捕虜一人ひとりの遺体身元確認状況を作成した。それができたのは、米国が自国兵の被害調査をしっかりおこなって記録を作っていたからである。一方わが国では、空襲被害者の実態も正確に把握できていないばかりか、沖縄戦で亡くなった県民、兵士の遺骨の混じった土を基地の埋め立てに使おうとすらしている。林氏は、日本社会の人命軽視、人権意識の希薄さが深い根としてであると指摘する。そして、「平和時には、善良な一般市民であった両国民を敵同士憎みあう関係にする戦争をしたことが最大の過ちであったことを我々は決して忘れてはならない」と述べる。戦争犯罪と言うが、そもそも犯罪でない侵攻、戦争があるのだろうかと考えさせられた。(飯澤)

地方史情報 155 2022年(令和4年)5月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。